

CZ-431-065



\*1200901599262\*

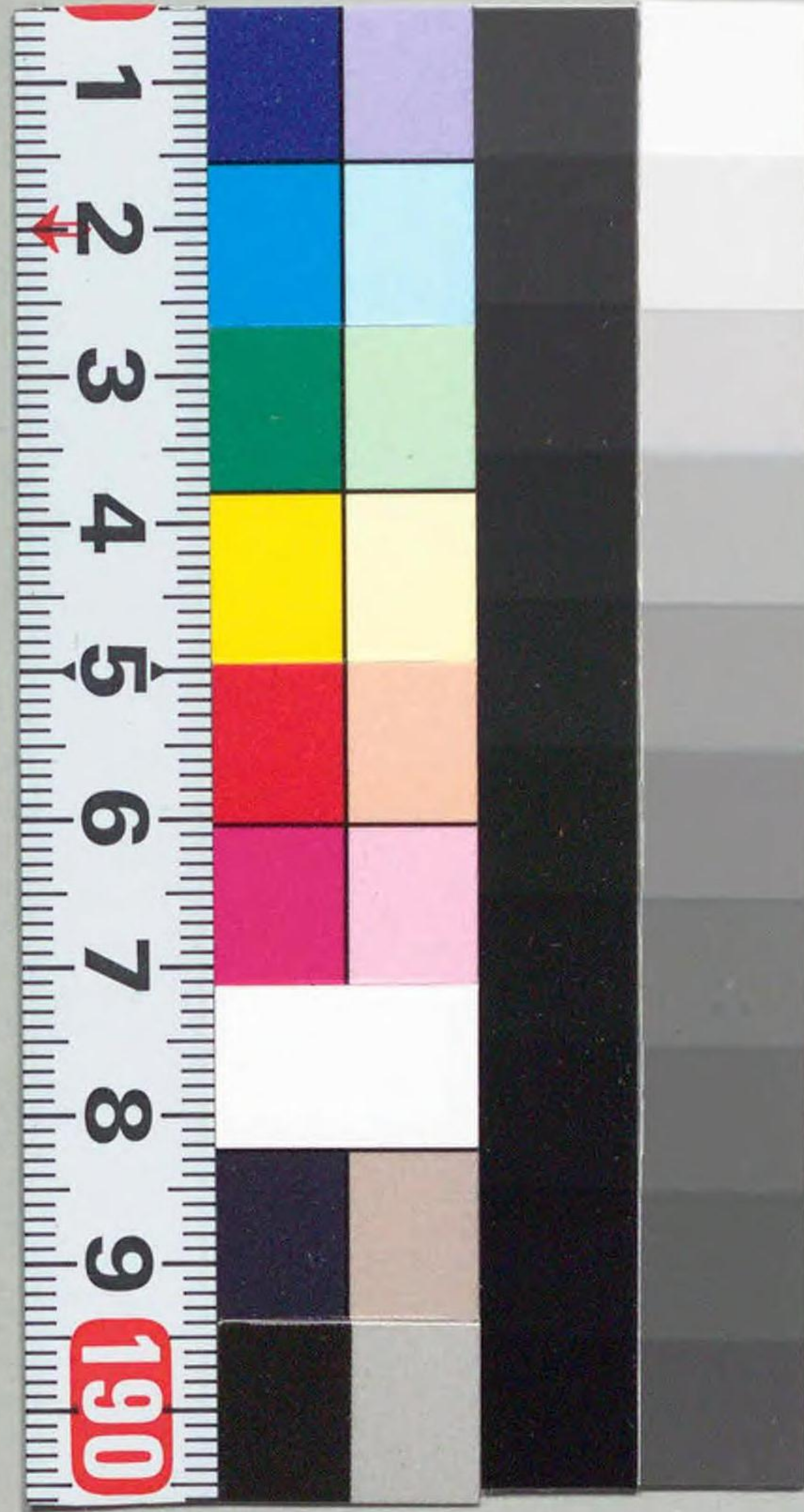
14.7  
765

十一年七月

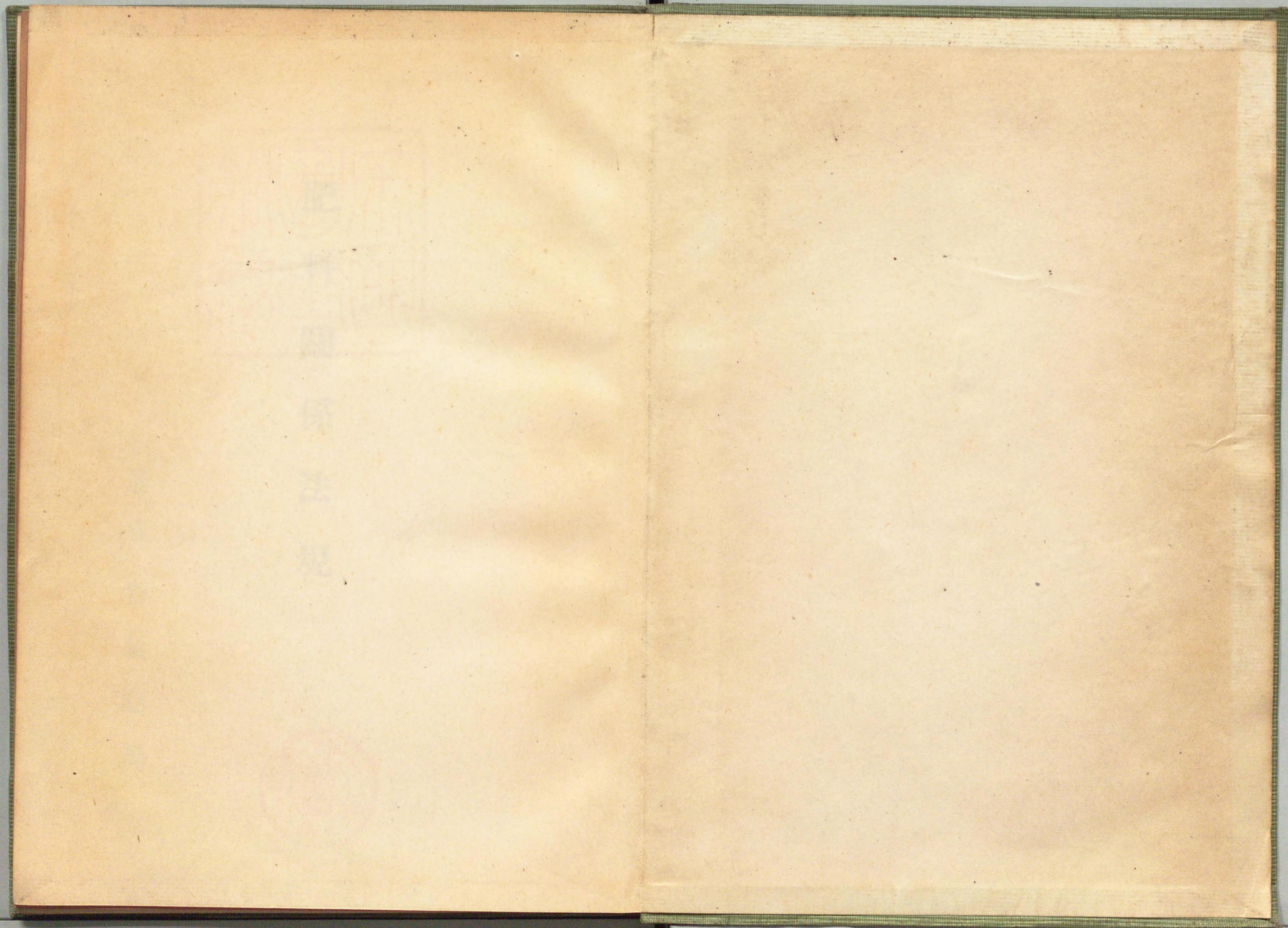
CZ  
431  
065

肥料關係法規

農林省農務局











肥料關係法規

農林省農務局





2  
431  
065

14.7-765.

目次

一 肥料取締法 (明治四十一年四月十三日法律第五十一號) ..... 一

    肥料取締法施行期日ニ關スル件 (明治四十一年六月二十九日勅令第六十六號) ..... 六

    肥料取締法施行規則 (明治四十一年八月十三日農商務省令第十七號) ..... 七

    重要肥料業統制法 (昭和十一年三月十七日同省令第一號改正) ..... 二

    重要肥料業統制法 (昭和十一年五月二十九日法律第三十九號) ..... 二

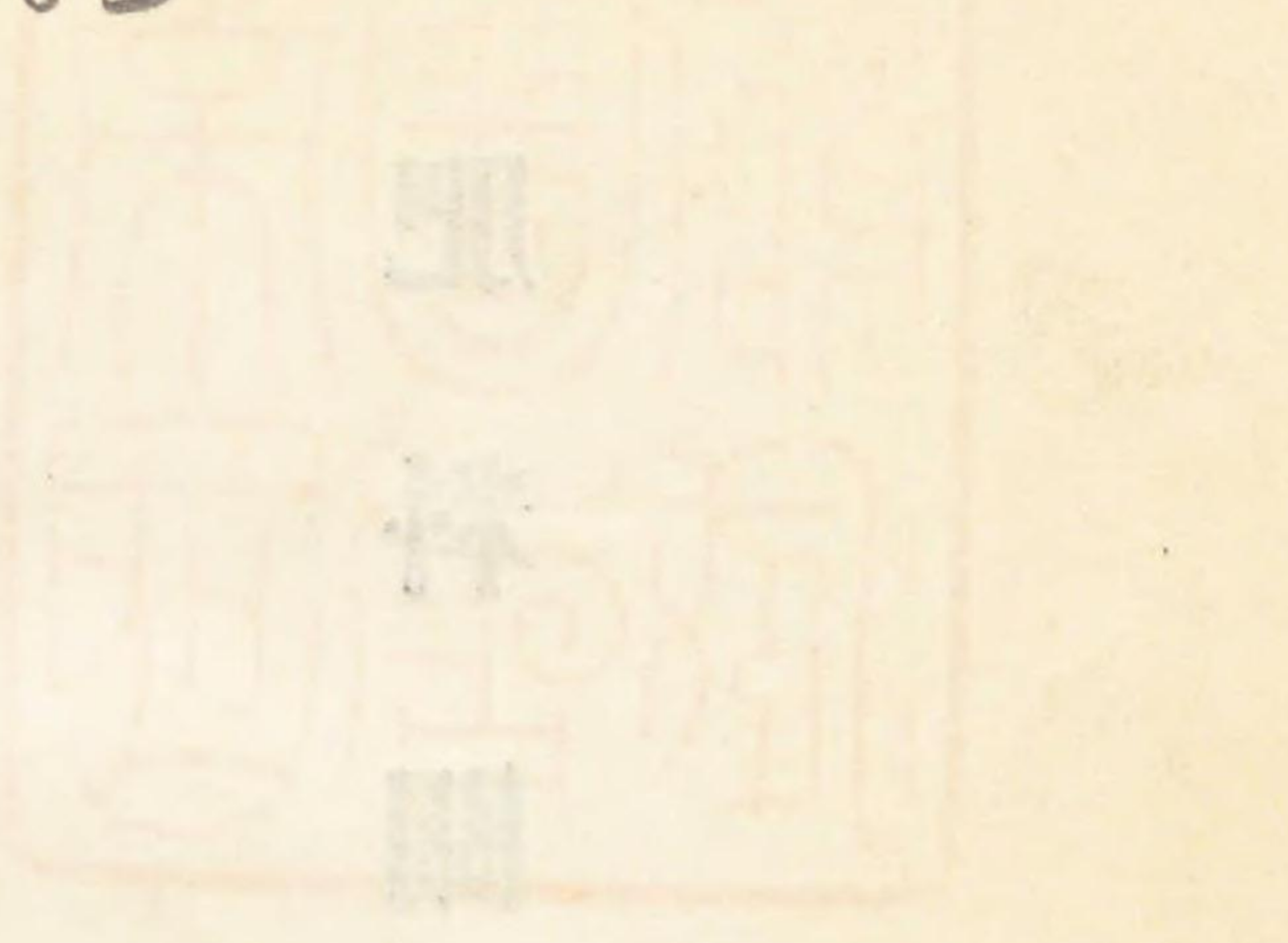
三 肥料改善獎勵ニ關スル規則及通牒 ..... 三

    (一) 肥料改良獎勵規則 (大正十年四月一日農商務省令第五號) ..... 三

        (イ) 肥料改良獎勵規則施行ニ關スル件 (大正十年五月二日農務省令第六十九號農務局長通牒) ..... 三

        (ロ) 施肥標準調查施行方法ニ關スル件 (昭和二年十月二十七日農務省令第二四二二號農務局長通牒) ..... 三

        (ハ) 施肥標準調查獎勵ニ關スル件 (昭和十一年六月六日農務省令第六五七四號農務局長通牒) ..... 四





二

(一) 肥料改良獎勵事業成績報告ニ關スル件 (大正十一年一月三十日) (農局第五六號農務局長通牒) …… 四七

(二) 肥料配給改善助成規則 (昭和五年八月一日) (農林省令第四號) …… 五六

(イ) 肥料ノ配給改善助成ニ關スル件 (昭和五年八月一日) (農第一〇二一九號農務局長通牒) …… 六二

(ロ) 肥料配給改善助成金交付ニ關スル件 (昭和九年二月二十一日) (農局第四九一號農務局長通牒) …… 六五

(ハ) 肥料配給改善助成規則ニ關スル様式 …… 七〇

(三) 自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關スル件 (昭和十一年六月六日) (農第六五七三號農務局長通牒) …… 七六

    自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調查獎勵ニ關スル件 (昭和十一年六月十六日) (農局第一八一七號農務局長通牒) …… 九六

(四) 肥料改善獎勵ニ關スル件 (昭和十一年六月六日) (農第六五七五號農務局長通牒) …… 一〇一

附 錄

厩肥ノ生産利用獎勵ノ件 (昭和七年九月十日) (畜第一〇三八三號農林次官通牒) …… 一二七

肥 料 取 締 法



# 肥料關係法規

## 一 肥料取締法

(明治四十一年四月十三日法律第五十一號)

第一條 本法ニ於テ肥料ト稱スルハ植物ノ營養ニ供用スル物料ヲ謂フ

第二條 肥料ノ製造、輸入、移入又ハ賣買ヲ營業ト爲サムトスル者ハ地方長官

ノ免許ヲ受クヘシ

肥料ノ調合又ハ製造業ニ伴フ肥料ト爲ルヘキ副産物ノ産出ハ之ヲ肥料ノ製造

ト看做ス

前項ノ製造業及副産物ハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條 前條第一項ノ免許願書ニハ製造者ニ在リテハ製造場ノ位置、製造及藏

置ニ關スル設備、肥料ノ名稱及製造方法ヲ、輸入者、移入者又ハ賣買者ニ在



リテハ肥料ノ名稱及營業所ノ位置ヲ記載スヘシ  
前項ニ依リ願書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 肥料營業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ肥料ニ保證票ヲ添附スヘシ

第五條 當該官吏ハ肥料營業者、運送業者又ハ倉庫業者ノ店舖、倉庫、工場、船車等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ニ就キ検査ヲ爲シ必要ナル分量ニ限り無償ニテ肥料又ハ製造原料ヲ收去スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際肥料ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第六條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者正當ノ理由ナクシテ其ノ免許ノ日ヨリ一年以内ニ開業セス又ハ一年以上其ノ營業ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ

免許ヲ取消スコトヲ得

第七條 肥料營業者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ公益上必要ト認ムルトキハ地方長官ハ免許ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其ノ營業者ニ對シ三年ヲ超過セサル期間肥料營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ禁スルコトヲ得

第八條 植物ノ營養ニ供用スル物料ニシテ地方長官ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタルモノハ之ヲ他ノ用途ニ供スル爲製造、輸入、移入又ハ賣買スル場合ニ限り本法ヲ適用セス

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ肥料及原料ハ刑法第十九條ノ物ニ非サル場合ト雖之ヲ沒收スルコトヲ得  
一 詐欺ノ行爲ヲ以テ免許ヲ受ケタル者



- 二 肥料ヲ偽造シ又ハ人ヲ欺罔スルノ目的ヲ以テ肥料ニ他物ヲ混和シタル營業者
  - 三 偽造シ又ハ人ヲ欺罔スル目的ヲ以テ他物ヲ混和シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者
  - 四 肥料ニ虚偽ノ保證票ヲ添附シタル營業者又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ他ノ肥料ニ使用シタル營業者
  - 五 虚偽ノ保證票ヲ添附シタル肥料又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ使用シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者
- 第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第一號乃至第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料及原料カ刑法第十九條ノ物ニ非サルトキト雖之ヲ沒收スルコトヲ得
- 一 免許ヲ受ケスシテ肥料營業ヲ爲シタル者

- 二 第七條ニ依ル命令ニ違反シタル者
  - 三 免許又ハ認可ヲ受ケサル製造方法ニ依リ肥料ヲ製造シタル營業者
  - 四 免許又ハ認可ヲ受ケサル肥料ヲ製造、輸入、移入又ハ賣買シタル營業者
  - 五 認可ヲ受ケスシテ製造場ノ位置又ハ製造若ハ藏置ニ關スル設備ヲ變更シタル營業者
- 第十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
- 一 第四條ニ依ル保證票ヲ添附セサル營業者
  - 二 第五條ニ依ル處分ヲ拒ミタル者
- 第十二條 肥料營業者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス



第十三條 肥料營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第十四條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ於ケル肥料ノ製造販賣又ハ販賣ノ免許ノ效力ハ明治四十一年十二月三十一日限トス

肥料取締法施行期日ニ關スル件

(明治四十一年六月二十九日勅令第百六十六號)

肥料取締法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

肥料取締法施行規則

(明治四十一年八月十三日農商務省令第十七號  
大正十年八月二十日農商務省令第一號改正  
大正十年三月十七日同 第四號改正)

第一條 肥料製造營業ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書ニ左ノ事項ヲ記載シ

タル書面ヲ添附シ所轄地方長官ニ差出スヘシ

一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二 營業所ノ位置

三 藏置所ノ位置

第二條 免許願書ニ記載スヘキ肥料ノ製造方法ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 原料ノ名稱

二 製造法ノ大要

三 第十三條第一項第一號又ハ第五號ニ該當スル肥料ニ在リテハ各原料ニ含

有スル百分ノ一以上ノ窒素、磷酸、加里ノ最少量及同第五號ニ該當スル肥



料ニ付角粉、蹄粉、皮粉、毛粉、羽粉、骨炭末、骨灰、「グアノ」其ノ他之

ニ類スル原料ヲ使用スル場合ニ在リテハ其ノ配合歩合ノ最少量

四 保證票ヲ添附スヘキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分量

第三條 肥料ノ輸入、移入又ハ賣買ノ營業ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ免許願書

ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シ所轄地方長官ニ差出スヘシ

一 營業者ノ氏名又ハ名稱及住所

二 藏置所ノ位置

三 製造者ノ氏名若ハ名稱及其ノ主タル製造場所在地又ハ肥料生産地

四 賣買營業者ヲ除クノ外保證票ヲ添附スヘキ肥料ニ在リテハ其ノ保證成分  
量

第三條ノ二 肥料賣買營業ノ免許願書又ハ認可願書ニ記載スヘキ肥料ノ名稱ハ

左記ノ肥料ニ限り普通肥料ト記載シ其ノ各別ノ名稱ノ記載ヲ省略スルコトヲ

得

一 第十三條第一項各號ノ肥料

二 溶劑ヲ使用セスシテ製造シタル大豆油粕、魚肥類、人糞尿、獸肉榨粕、

干蠶蛹、米糠、草木灰

第四條 地方長官肥料營業ノ免許又ハ認可ノ出願ニ對スル處分ノ爲必要ト認ム

ルトキハ其ノ出願者ニ對シ肥料又ハ其ノ原料ノ提出ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ指定ノ期間内ニ肥料又ハ其ノ原料ヲ提出セサルトキハ地方

長官ハ免許願書又ハ認可願書ヲ却下スルコトヲ得

第五條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者ニシテ行商ヲ爲サムトスルトキハ行商地

ノ地方長官ニ願出テ行商鑑札ヲ受ケ之ヲ携帯スヘシ雇人其ノ他ノ從業者ヲシ

テ行商ヲ爲サシムル場合ニ於テハ各之ヲ携帯セシムヘシ

第六條 肥料營業ノ免許ヲ與ヘタル地方長官ノ所轄區域外ニ於テ行商スルノ目



的ヲ以テ行商鑑札ノ下付ヲ出願セムトスル者ハ願書ニ肥料營業ニ關スル免許願書、認可願書及其ノ添附書類並免許書及認可書ノ寫ヲ添へ行商地ノ地方長官ニ差出スヘシ

前項ニ依リ地方長官ニ差出シタル書類ノ寫ニ記載シタル事項ニ變更アリタルトキハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第七條 行商者ヲ變更シタルトキ又ハ肥料營業者若ハ行商者ノ氏名、名稱若ハ住所ニ變更アリタルトキハ肥料營業者ハ二週間内ニ行商地ノ地方長官ニ鑑札ノ書換ヲ出願シ行商ヲ廢止シタルトキハ遲滞ナク鑑札ヲ返納スヘシ

肥料營業者死亡シタルトキハ其ノ相續人、行商者死亡シタルトキハ其ノ肥料營業者前項ニ準シ遲滞ナク行商鑑札ヲ返納スヘシ

第八條 肥料ノ製造營業者第一條第二號ニ掲ケタル事項ヲ變更シ又ハ肥料ノ輸入、移入ノ營業者第三條第四號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ所轄

地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第九條 肥料營業者ハ第一條第一號、第三號、第三條第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキ又ハ其ノ營業ヲ廢止若ハ休止シタルトキハ二週間内ニ、其ノ休止シタル營業ヲ開始シタルトキハ直ニ各製造場、營業所及藏置所所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

肥料營業者死亡シタルトキハ其ノ相續人ハ前項ニ準シ其ノ旨届出ツヘシ  
第十條 肥料營業者其ノ營業ノ免許又ハ肥料取締法第三條第二項若ハ本則第八條ノ認可アリタル場合ニ於テ其ノ製造場、營業所、藏置所カ二以上ノ道府縣ニ涉ルモノナルトキハ其ノ免許又ハ認可ノ日ヨリ二週間内ニ願書及其ノ添附書類、免許書及認可書ノ寫ヲ添へ其ノ旨關係地方長官ニ届出ツヘシ

第十一條 肥料營業者ハ各製造場及營業所ニ其ノ營業ニ關スル願書其ノ添附書類、免許書及認可書、届書又ハ其ノ寫ヲ備へ置クヘシ



第十二條 左記ノ副産物ハ肥料取締法第二條第二項ノ副産物トス

一 大豆油粕、菜種油粕、棉實油粕、荏油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花生油粕、亞麻仁油粕、麻實油粕、植物雜油粕、米糠油粕

二 魚族荒粕、獸肉榨粕、蠶蛹油粕

三 硫酸「アンモニア」、加里鹽類

前項ノ副産物ヲ産出スル製造業ハ肥料取締法第二條第二項ノ製造業トス

第十三條 左記ノ肥料ヲ製造、輸入若ハ移入スル營業者ハ肥料ノ主分量ヲ保

證スル爲其ノ製造、輸入若ハ移入後遲滯ナク保證票ヲ肥料ノ各容器ノ外部ニ、

容器ヲ使用セサルモノニ在リテハ各箇ノ外部ニ添附スヘシ

一 過磷酸石灰、重過磷酸石灰、沈澱磷酸石灰、「トーマス」燐肥、硝酸鹽類、

「アンモニア」鹽類、加里鹽類及化學的方法ニ依リ製造シタル肥料

二 骨粉、骨炭末、骨灰、肉粉、「タンケージ」、乾血、「グアノ」及特ニ粉碎シ

### タル肥料

三 菜種油粕、棉實油粕、荏油粕、胡麻油粕、蓖麻子油粕、椰子油粕、落花

生油粕、亞麻仁油粕、麻實油粕、植物雜油粕、米糠油粕、溶劑ヲ使用シテ

製造シタル大豆油粕、蠶蛹油粕

四 堆積肥料、乾糞肥料、燠炭肥料、液肥ヲ他物ニ吸收セシメタル肥料

五 二種以上ノ肥料ヲ調合シタル肥料

肥料營業者ニシテ保證票ヲ添附シタル肥料ノ容器ヲ變更シ若ハ之ヲ開キ若ハ天災其ノ他特別ノ事故ニ因リ其ノ主成分量ニ異動ヲ生シタル場合又ハ保證票ヲ添附スヘキ肥料ニシテ其ノ添附ナキモノ若ハ保證票ニ第十五條第一項第一號乃至第五號ノ事項ノ記載ヲ缺キ若ハ其ノ記載ノ不明ナル保證票ヲ添附シタルモノヲ取得シタル場合ハ前項ノ規定ヲ準用ス保證票喪失シ若ハ著シク毀損汚染シタル場合亦同シ



第十四條 地方長官必要ト認ムルトキハ前條ニ掲ケサル肥料ト雖農商務大臣ノ認可ヲ經テ肥料營業者ニ保證票ノ添附ヲ命スルコトヲ得  
 前項ノ場合ニ於テ地方長官必要ト認ムルトキハ其ノ肥料ニ含有スル百分ノ一未滿ノ主成分量ト雖之カ記載ヲ命スルコトヲ得

第十五條 保證票ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 保證票ナル文字
- 二 肥料ノ名稱
- 三 肥料百分中ノ主成分量
- 四 保證票ヲ添附スル者ノ氏名又ハ名稱、主タル營業所ノ位置及營業種別
- 五 前各號ノ外肥料製造ノ營業者ニ在リテハ其ノ肥料ノ製造年月及製造場ノ所在地、輸入、移入ノ營業者ニアリテハ其ノ肥料ノ輸入若ハ移入ノ年月、仕入先、肥料賣買ノ營業者ニ在リテハ其ノ肥料ノ製造、輸入若ハ移入ノ營業者

ノ氏名若ハ名稱又ハ仕入先及保證票添附ノ年月

前項第三號ノ主成分量ハ左ノ區別ニ從ヒ肥料ニ含有スル百分ノ一以上ノ主成分ノ最少量ヲ記載スヘシ

- 一 「アンモニア」鹽類 「アンモニア」性窒素
- 二 硝酸鹽類 硝酸性窒素
- 三 過磷酸石灰、重過磷酸石灰 水溶性磷酸
- 四 前號以外ノ磷酸鹽類 水溶性磷酸、水ニ溶解セスシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル磷酸
- 五 加里鹽類 水溶性加里
- 六 有機質肥料 窒素全量、磷酸全量
- 七 前各號以外ノ肥料 窒素全量、「アンモニア」性窒素、硝酸性窒素、磷酸全量、水溶性磷酸、加里全量、水



第十六條 保證票ニハ前條ニ規定シタル事項並肥料ノ正味量、商標及商號ノ外他ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ス但シ前條第二項第三號又ハ第七號ノ肥料ニシテ水ニ溶解セスシテ枸橼酸「アンモニア」液ニ溶解スル磷酸ノ量百分ノ一以上ヲ含有スルモノニ在リテハ其ノ最少量ヲ記載スルコトヲ妨ケス

第十七條 検査ノ爲必要ナル肥料又ハ其ノ原料ヲ收去セムトスルトキハ其ノ肥料又ハ原料ノ存在スル場所ノ所有者、借主、管理者、從業者、同居者若ハ鄰佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
收去シタル肥料又ハ原料ハ之ヲ容器ニ密封シ之ニ肥料又ハ原料ノ名稱、肥料營業者ノ氏名若ハ名稱、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏及立會人之ニ署名封印スヘシ立會人署名封印セス又ハ署名封印スルコト能ハサルトキハ其ノ旨附記スヘシ

第十八條 臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法施行規則第二條乃至第五條第八條及第十二條ノ規定ヲ準用ス

第十九條 肥料營業者ニシテ肥料ヲ輸入若ハ移入スルトキ又ハ輸入港若ハ移入港ニ於テ輸入若ハ移入ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先並陸揚ノ場所及年月日ヲ陸揚地ノ地方長官ニ届出ツヘシ但シ大豆油粕ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 肥料營業者ハ各營業所ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ讓受ケ若ハ肥料營業者ニ之ヲ讓渡ス毎ニ其ノ名稱、數量、價額、年月日、相手方ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ  
肥料製造營業者ハ前項ノ外其ノ製造場ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ製造スル毎ニ其ノ名稱、數量及年月日ヲ記載スヘシ  
前二項ノ帳簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ二年以上之ヲ保存スヘシ



第二十一條 肥料製造營業者ハ各製造場ニ於テ前年中ニ製造シタル肥料及製造ノ原料ニ供シタル肥料ニ付名稱別ノ數量及價額ヲ毎年二月末日迄ニ其ノ製造場所所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

肥料營業者ハ各營業所ニ於テ前年中ニ輸入、移入、輸出又ハ移出シタル肥料ニ付前項ニ準シ其ノ營業所所在地ノ地方長官ニ届出ツヘシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ツヘキ事項ナキトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ但シ輸出及移出ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

營業者其ノ營業ヲ廢止シタルトキハ其ノ届出ト同時ニ前各項ニ準シ届出ツヘシ

營業者死亡シタルトキハ相續人ヨリ其ノ届出ト同時ニ前各項ニ準シ届出ツヘシ

第二十二條 肥料營業ノ免許、認可、其ノ取消又ハ其ノ營業ノ停止若ハ制限又

ハ營業ニ關スル行爲ノ禁止ニ關スル處分ハ製造營業ニアリテハ主タル製造場所在地、輸入、移入又ハ賣買ノ營業ニ在リテハ主タル營業所所在地ノ地方長官之ヲ行フモノトス

第二十三條 削除

第二十四條 第五條、第七條乃至第十一條、第十六條、第十九條乃至第二十一條又ハ第二十六條第二項ニ違反シタル者又ハ肥料ノ效能ヲ誇稱シテ虚偽ノ廣告ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

保證票ノ添附ヲ要セサル肥料ニ虚偽ノ主分量ヲ記載シタル票箋ヲ添附シタル者亦前項ニ同シ

附 則

第二十五條 本則ハ肥料取締法改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條 本則施行ノ當時保證票ノ添附アル肥料ヲ所有スル肥料營業者ハ明



治四十二年二月末日迄ニ本則ニ依リ更ニ保證票ヲ添附スヘシ  
肥料營業者ハ本則施行後二週間内ニ前項肥料ノ名稱及數量ヲ其ノ肥料存在地  
ノ地方長官ニ届出ツヘシ

治四十二年二月末日迄ニ本則ニ依リ更ニ保證票ヲ添附スヘシ  
肥料營業者ハ本則施行後二週間内ニ前項肥料ノ名稱及數量ヲ其ノ肥料存在地  
ノ地方長官ニ届出ツヘシ

重要肥料業統制法



## 二 重要肥料業統制法

(昭和十一年五月二十九日  
法律第三十號)

第一條 本法ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ肥料製造業及農業經營ノ改善發達ヲ期スルコトヲ目的トス

第二條 本法ノ適用ヲ受クル肥料ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
本法ニ於テ肥料製造業ト稱スルハ命令ノ定ムル所ニ依リ肥料ヲ製造スル事業ヲ謂フ

第三條 肥料製造業者ハ肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ肥料製造業ノ改善發達ヲ期スル爲政府ノ認可ヲ受ケ肥料ノ種類別ニ肥料製造業組合ヲ設立スルコトヲ得

第四條 肥料製造業者肥料製造業組合ヲ設立セザル場合ニ於テ政府必要アリト認ムルトキハ肥料製造業者ニ對シ肥料製造業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得



前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル所ニ依リ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ政府ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第五條 肥料製造業組合ハ法人トス

肥料製造業組合ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ營ムコトヲ得ズ

第六條 肥料製造業組合ハ左ノ事業ヲ行フコトヲ得

- 一 肥料ノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定、肥料ノ販賣價格ノ決定其ノ他肥料ノ生産又ハ販賣ニ關スル決定
- 二 組合員ノ委託ニ依ル肥料ノ販賣但シ前號ノ決定ヲ實行スル爲必要アル場合ニ限ル
- 三 組合員ノ肥料製造業ニ必要ナル物ノ供給
- 四 其ノ他組合ノ目的達成上必要ナル事業

第七條 肥料製造業組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ第四條第二項ノ規定ニ依

リ定款ノ作成アリタル時成立ス

肥料製造業組合ノ設立アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ登記シタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

肥料製造業組合ノ設立又ハ登記シタル事項ノ變更ハ其ノ登記ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條 肥料製造業組合ハ肥料ノ種類毎ニ一箇トス

第九條 肥料製造業組合ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セズ

第十條 肥料製造業組合ノ設立アリタルトキハ其ノ種類ノ肥料製造業者ハ其ノ組合ノ組合員トス

肥料製造業組合ハ政府ノ認可ヲ受ケ本法施行地域外ニ於テ肥料製造業ヲ營ム者ヲ組合員ト爲スコトヲ得



第十一條 肥料製造業組合第六條第一號ノ決定ヲ爲シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ實施前豫メ之ヲ政府ニ届出デ其ノ承認ヲ受クベシ  
 肥料製造業組合ノ組合員ハ前項ノ規定ニ依ル届出前ニ於テハ其ノ決定ニ基キ肥料ノ生産又ハ販賣ヲ爲スコトヲ得ズ届出後命令ノ定ムル期間内亦同ジ  
 政府肥料ノ需給ノ圓滑又ハ價格ノ公正ヲ圖ル爲其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ第一項ノ決定ノ全部又ハ一部ノ變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得  
 第十二條 肥料製造業者又ハ肥料製造業組合ハ政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ肥料ノ生産、販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ニ關シ統制協定ヲ爲スコトヲ得ズ

第十三條 肥料製造業組合肥料ノ製造總數量及各組合員ニ對スル其ノ割當ノ決定又ハ肥料ノ販賣價格ノ決定ヲ爲サザル場合ニ於テ政府公益上必要アリト認ムルトキハ其ノ決定ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十四條 政府公益上必要アリト認ムルトキハ肥料製造業組合ノ組合員ニ對シ肥料ノ生産又ハ販賣ニ關スル組合ノ決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十五條 政府ハ肥料製造業組合又ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
 政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ肥料製造業組合又ハ其ノ組合員ノ事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 肥料製造業組合ノ決議又ハ組合ノ役員ノ行爲ガ法令、定款若ハ政府ノ處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ政府ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 決議ノ取消



二 役員ノ解任

三 組合ノ事業ノ停止

四 組合ノ解散

第十七條 本法ニ規定スルモノヲ除クノ外肥料製造業組合ノ設立、登記、組織、管理、解散、清算其ノ他組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 政府公益上必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ制限スルコトヲ得

第十九條 第十一條第三項ノ規定ニ依ル處分、前條ノ規定ニ依ル制限其ノ他本法施行ニ關スル重要事項ニ付政府ノ諮問ニ應ゼシムル爲重要肥料業委員會ヲ置ク

重要肥料業委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十一條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 第十二條ノ規定ニ違反シ政府ノ許可ヲ受ケズシテ統制協定ヲ爲シタル者

三 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十八條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ爲シタル者

前項第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料ハ之ヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徴スルコトヲ得

第二十一條 第十三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條 正當ノ事由ナクシテ第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ其ノ他政府ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條 當該官吏又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得



シタル個人又ハ法人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ徵役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者其ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキ罰前項ニ同ジ

第二十四條 肥料製造業組合、肥料製造業組合ノ組合員、肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成

年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 肥料製造業組合第十一條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サザルトキハ組合ノ役員ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十七條 肥料製造業組合法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキハ組合ノ役員又ハ清算人ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十八條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

登録税法第十九條第七號中「又ハ輸出組合聯合會」ヲ「輸出組合聯合會又ハ肥料製造業組合」ニ、「又ハ輸出組合法」ヲ「輸出組合法又ハ重要肥料業統制法」ニ改ム







### 三 肥料改善獎勵ニ關スル規則及通牒

#### (一) 肥料改良獎勵規則 (大正十年四月一日 農商務省令第五號)

第一條 農商務大臣ハ左ニ掲クル道府縣ノ費用ニ對シ每年度豫算ノ範圍内ニ於テ道府縣ニ獎勵金ヲ交付ス

一 專ラ肥料ノ改良増殖及其ノ使用方法ノ改良ニ關スル獎勵事務ニ従事スル技術員ヲ道府縣ニ設置スル爲ニ要スル費用

二 府縣立農事試驗場ニ於テ施肥標準調査ヲ行フ爲ニ要スル費用

三 北海道又ハ府縣立農事試驗場ノ設置ナキ府縣ニ於テ農商務大臣ノ適當ト認ムル機關ニ依リ前號ニ掲クル調査ヲ行フ爲ニ要スル費用

第二條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスル道府縣ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル



書類ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農商務大臣ニ提出スヘシ

一 事業計畫

二 支出豫算

第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ前條各號ニ掲ケル事項ヲ變更シタルトキハ直ニソノ旨ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ但シ輕易ナル事項ニ關スル變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ事業成績及決算ヲ翌年度九月三十日迄ニ農商務大臣ニ報告スヘシ

第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ノ經費支出額カ第二條ノ添附書類ニ記載シタル豫算額ヨリ減少シタルトキ又ハ事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキハ農商務大臣ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ

附 則

本則ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條中前年度二月末日迄トアルハ大正十年六月十日迄トス

(イ) 肥料改良獎勵規則施行ニ關スル件

(大正十年五月二日 農第六七六九號農務局長通牒)

今般農商務省令第五號ヲ以テ肥料改良獎勵規則公布相成候處肥料ハ農業生産ノ基礎ニシテ其ノ供給ノ多寡及施用ノ適否ハ本邦食糧ノ充實其ノ他農産物ノ改良發達ト密接ナル關係ヲ有スルヲ以テ之カ改良増殖及經濟的使用法ノ普及ヲ圖ルハ寸時モ忽ニスルヲ許サス候條道府縣ニ於テ適當ナル技術者ヲ常置シ專ラ肥料ノ改良増殖ニ關スル指導及獎勵ノ任ニ當ラシメ或ハ施肥標準調査ヲ行ヒ其ノ成績ヲ調査攻究シテ施肥方法ノ改善ニ資シ農家ノ肥料施用法ヲシテ合理的且經濟的ナラシメ以テ一層其ノ效果ヲ増進セシムル様周到ナル指導獎勵ヲ行フ如キハ極メテ緊要ナル施設ト認メ大正十年度ヨリ是等事業ノ發達ヲ助長スル爲道府縣



ニ獎勵金ヲ交付スルコトト相成候次第ニ付右本省ノ施設ニ對應シ相當施設相成候様特ニ御配意相成度尙同規則第一條ニ依ル獎勵金ノ交付ハ本省自ラ其ノ必要ヲ認メ交付スル場合ノ外別記ニ依リ取扱フコトト相成候條御了知相成度此段依命及通牒候也

記

第一 規則第一條第一號ノ技術員ハ道府縣廳ニ在勤ノ者タルコトヲ要ス

第二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ハ別ニ通牒スル事業施行方法ニ準據スルコトヲ要ス

第三 獎勵金ハ左記標準ニ依リ之ヲ交付ス

- 一 規則第一條第一號ノ技術員ニ付テハ一人ヲ限り其ノ俸給及旅費ノ二分ノ一以内トス但シ千三百圓ヲ限度トス

二 (昭和十一年六月六日改正)



規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ付テハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス但シ一道府縣總額千三百圓ヲ限度トス

- (一) 原地ニ於ケル三要素試験、三要素適量試験又ハ應用試験ニ關シテハ昭和十一年度以降新ニ着手スルモノニ限り之ニ要スル費用 (肥料其ノ他材料費、試験地管理費等) ニ對シ試験地一箇所ニ付三十圓以内トス但シ五百圓ヲ限度トス

- (二) 旅費ニ對シテハ二分ノ一以内トス但シ五百圓ヲ限度トス
- (三) 其ノ他ノ費用ニ對シテハ五分ノ一以内トス但シ七百圓ヲ限度トス

第四 獎勵金ハ左記ニ依リ計上シタル經費ニ對シ之ヲ交付ス

- 一 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル經費ハ豫算中ニ其ノ俸給及旅費ヲ他ノ技術員ノ分ト區別シテ明示スルコト

二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ關スル經費ハ府縣立農事



試験場又ハ之ヲ施行スル道府縣ノ機關ノ豫算中ニ特ニ「施肥標準調査費」ナル一目ヲ設ケ別記様式ニ準シ他ノ經費ト區別シテ計上スルコト

大正十年ニ限り特別ノ事由アリト認ムルトキハ前項第二號ノ目ヲ設ケサル場合ト雖右經費ニ該當スルコトヲ明示スル場合ニ限り之ヲ交付スルコトアルヘシ

第五 奨励金ノ交付ヲ受ケタル經費ハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ス

第六 奨励金ハ國庫ヨリ補助金ノ交付ヲ受ケル經費ニ對シテハ之ヲ交付セス

第七 規則第一條第一號ノ場合ニ於ケル技術員ハ左ノ資格ノ一ヲ具備スル者タルコトヲ要ス若シ之ニ依リ難キ場合アルトキハ豫メ打合スヘシ

一 帝國大學農學部、農業専門學校又ハ之ト同等以上ノ農業學校ニ於テ農藝化學科又ハ之ニ該當スル學科ヲ卒業シタル者

二 前號ノ學校ニ於テ農學科又ハ之ニ該當スル學科ヲ卒業シタル者ニシテ國



立若ハ府縣立農事試験場又ハ之ニ準スヘキ試験研究所ニ於テ二年以上肥料ニ關スル試験研究ノ事務ニ從事シタル者

三 修業年限二年ノ高等小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限三年以上ノ農業學校ヲ卒業シタル者ニシテ東京農業大學農藝化學部ヲ卒業シ國立若ハ府縣立農事試験場又ハ之ニ準スヘキ試験研究所ニ於テ二年以上肥料ニ關スル試験研究ノ事務ニ從事シタル者

四 前號ノ農業學校ヲ卒業シタル者ニシテ國立若ハ府縣立農事試験場又ハ之ニ準スヘキ試験研究所ニ於テ三年以上肥料ニ關スル試験研究ノ事務ニ從事シタル者

五 道府縣ニ於テ二年以上肥料検査官吏タリシ者

第八 規則第二條第一號ノ事業計畫ニハ左記事項ヲ記載スルヲ要ス但シ前年度ト異動ナキ事項ニ付テハ其ノ旨附記シテ之カ記載ヲ省略スルコトヲ得



一 擔任セシムヘキ事項

二 官職氏名及履歴ノ大要

第九(省略) 乙 施肥標準調査ニ關スル事項(省略)

(口) 施肥標準調査施行方法ニ關スル件

(昭和二年十月二十七日 農局第二四二二號農務局長通牒)

大正十年農商務省令第五號肥料改良獎勵規則ニ據ル大正十年五月一〇農局第六八二號通牒施肥標準調査施行方法ヲ今般左記ノ通變更致候條右御了知相成度此段及通牒候也

施肥標準調査施行方法

一 施肥標準調査ヲ行フニ當リテハ計畫上ノ參考資料トシテ豫メ管内各地ニ

於ケル施肥慣行調査ヲ行フコト

二 施肥標準調査ヲ行フヘキ代表的土壤ヲ選定シ其ノ地ニ於テ先ツ原地調査ヲ行フコト

三 原地調査ニ於テ調査スヘキ主ナル事項ハ次ノ如キモノタルコト

一 代表地域内ノ町村及其ノ見込面積竝同地域内ニ於ケル稻作、麥作其ノ他特ニ主要ナル作物ノ栽培見込面積及收穫量

一 耕種ノ梗概

一 肥料ノ種類及施肥量

一 施肥ノ回數及時期竝施肥法ノ概要

一 灌溉水

一 地質、土性及土層

四 施肥標準調査ハ行政區劃ニ拘泥セスシテ主トシテ管内ノ代表的土壤ニ付



施行スルコト

四〇

- 五 施肥標準調査ハ主要農作物ニ付テ行フモノトス
- 六 作物ノ生育著シク不良ナル地方又ハ圃地若ハ從來ノ施肥慣行カ合理的ナラスト認ムル地方ハ可成速ニ着手スルコト
- 七 施肥標準調査ハ「ポット」試験、原地試験及分析檢定ヲ併セ行フヲ原則トスルコト但シ原地ニ於テ相當ノ管理ヲ爲シ得ル場合ニ於テハ「ポット」試験ニ該當スル試験ヲ直ニ原地ニ於テ行フモ妨ケナシ
- 八 「ポット」試験ニ於テハ左ノ五區ヲ設ケ三要素試験ヲ行フコト
  - 一 完全區
  - 一 無窒素區
  - 一 無燐酸區
  - 一 無加里區

一 無肥料區

九 三要素試験ハ其ノ成績ヲ調査シ先ツ各種土壤別ニ五區ノ成績ヲ絶對數量ヲ以テ比較シ供試作物ニ依リテ利用セラレ得ル土壤ノ三要素ノ多少ヲ查定シ更ニ各種土壤ニ就テ各該當スル區ヲ完全區ノ成績ニ對スル差ヲ以テ比較對照シ原地試験ノ準備或ハ肥料トシテ補給スヘキ三要素量ヲ推定スルノ材料トナスコト

一〇 三要素試験ニ供用スル土壤中ニハ比較ノ爲農事試験場所在地ノ土壤ヲモ加フルコト

一一 「ポット」試験ハ三箇年位繼續施行シ其ノ平均ヲ採リ且各年ノ成績ヲ相互比較スルコト

一二 「ポット」試験ニ於テハ同一ノ土壤ニ付同一ノ試験ヲ少クトモ二組宛行フコト



一三 土壤ノ採收ニハ特ニ前作及施肥ノ關係ヲ注意シ選定地内ニ於テ五箇所以上ノ箇所ヨリ土壤ヲ採收シ(心土ヲ混セサル様特ニ注意シ)能ク混合シ供試土壤トスルコト

一四 「ポット」試験ニ供用スル「ポット」ハ磁製「ポット」ニシテ其ノ大サ一反歩ノ二萬分ノ一ニ相當スルモノヲ用ヒ之ニ施用スル肥料ハ硫酸「アンモニア」、過磷酸石灰、硫酸加里トシ其ノ施用量ハ一「ポット」ニ付三要素トモ何レモ一「グラム」ヲ標準トスルコト但シ土壤ノ性質ニ依リ多少加減ヲ爲スコト

一五 「ポット」試験ニ於テハ必要ト認ムル場合適量ノ炭酸石灰ヲ施用スルコト

一六 「ポット」試験ハ外界ヨリ惡影響ヲ受クルコト少キ様特ニ注意シ可成網室又ハ硝子室ヲ使用スルコト

一七 「ポット」試験ニ供用セシ土壤ハ別ニ化學的及理學的方法ニ依リ左ノ檢

定ヲ爲スコト但シ農事試験場ニ於ケル業務ノ繁閑ニ依リ其ノ一部ヲ省略スルモ妨ナシ

一 水分及灼熱消失量

一 窒素全量及石灰量

一 有效性磷酸及加里ノ量

一 酸度

一 窒素及磷酸ニ對スル吸收率

一 淘汰分析

一八 原地試験ハ「ポット」試験ヲ了リタル土壤ノ原地ニ付「ポット」試験ノ成績ヲ應用シテ之ヲ行フコト但シ「七」ノ但書ノ場合若ハ之ニ準スヘキ特別ノ事情アル場合ハ此ノ限ニアラス

一九 原地試験ハ可成區數ヲ少クシ一區ノ面積ヲ廣クシ且少クトモ二區平均



ノ方法ヲ採リ尙各區ノ周圍ニハ必ス番外列ヲ適當ニ設クルコト

二〇 代表的土壤ヲ採收スルト同時ニ可成其ノ原地ニ於テ無肥料栽培試験ヲ行ヒ原地ニ於ケル天然生産力ヲ査定スルコト但シ其ノ試験成績ハ第二年目及第三年目ヲ平均スルコト

二一 原地試験ニ於テハ少クトモ左ノ四區ヲ設ケテ經濟的施肥量ヲ決定スルコト

一 在來施肥區

一 査定標準區

一 同上増減二區

二二 査定標準區ニ於ケル三要素施用量ハ其ノ地ノ事情ト最モ近似セル土地ノ三要素適量試験成績ニ左ノ事項ヲ加味シテ査定スルコト

(一) 第八項ノ方法ニヨリテ計算シタル「ポット」試験成績及原地ニ於ケル

無肥料栽培試験成績

(二) 又ハ原地三要素試験成績

(三) 及原地調査ニ於ケル收穫量

二三 原地試験ニ供用スル肥料ハ基本肥料トシテ堆肥又ハ綠肥ノ適量ヲ用ヒ販賣肥料ハ可成廉價ナルモノヲ選擇シ之カ應用ニ便ナル様特ニ注意スルコト但シ特殊ノ事情アル土地ニ於テハ此限リニアラス

二四 各肥料ノ用量ハ養分吸收率ニヨリ算出スルコト

二五 原地試験ニ於ケル試験地ノ設定栽培管理等ニ就テハ特ニ相當ノ注意ヲ爲スコト

二六 原地試験ハ三箇年以上五箇年位繼續施行スルコト

二七 農事試験場ノ圃場ニ於テ完全ナル試験方法ニ依リ長期間ニ亘リ三要素適量試験ヲ行フコト



著シク土質氣候ヲ異ニスル爲原地試驗設計上前項試驗成績ヲ應用スルコト  
不適當ナリト認メラルル地方ニ付テハ正確ナル成績ヲ得ラルル場合ニ限り  
其ノ地ニ於テ前項ト同様ノ試驗ヲ行フコト但シ該土壤ヲ「ポツト」試驗ニ  
加フルコト

二八 前各項ニ記載スル施肥標準調査方法ニ異ナル點アル場合ト雖農務局長  
ニ於テ適當ト認メタルトキハ其ノ方法ニ依リ之ヲ施行スルコトヲ得

(八) 施肥標準調査獎勵ニ關スル件

(昭和十一年六月六日  
農務局長通牒)

農産物ノ生産改良上施肥法ノ改善ハ極メテ重要ナル事項ニ有之候處自然的原因  
ニ依リ局所的ニ複雑ナル變化ノ存スル土壤ノ特質ヲ明ニシ之ニ適當スル施肥法  
ノ基準ヲ定ムル施肥標準調査ハ施肥法ノ改善上根本ヲ爲スモノト存セラレ候斯  
ノ見地ニ於テ本省ハ從來道府縣農事試驗場ニ於ケル施肥標準調査事業ヲ助成シ

來リ相當ノ成績ヲ收メ候處右ハ事情ノ許ス限り周密ニ施行スルノ要アルヲ以テ  
今回獎勵金ヲ増加交付スルコトト相成候條本省ノ施設ニ相對應シテ適當施設相  
成度尙獎勵金ノ交付ニ關シテハ大正十年五月二日農務局長第六七六九號肥料改良獎勵  
規則施行ニ關スル依命通牒別記第三第二號ヲ左記ノ通改正相成特別ノ場合ヲ除  
ク外右ニ依リ取扱フコトト相成候條御了知相成度依命此段及通牒候也

記

(以下第三四頁記載ノ大正十年五月二日農務局長第六七六九號肥料改良獎勵規則施行  
ニ關スル農務局長通牒別記第三第二號ノ通)

(二) 肥料改良獎勵事業成績報告ニ關スル件

(大正十一年一月三十日  
農務局長通牒)

大正十年四月農商務省令第五號肥料改良獎勵規則第四條ノ事業成績ハ別記ニ依  
リ報告相成度此段及通牒候也



記

一 規則第一條第一號ノ技術員ニ關スル事項

(一) 從事セシ業務ノ大要

二 規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ニ關スル事項 (省略)

規則第一條第二號又ハ第三號ノ施肥標準調査ノ事業計畫書、事業成績書、收支豫算書及收支決算書ハ左記ノ様式ニ準據シ記載スルコト (昭和十一年六月十六日農局第一八一七號農務局長通牒)

様式

第一號 事業計畫書

一 施行計畫

事項	施行地域			供試作物		
	町村數	田	畑	町村數	田	畑
施肥慣行調査點數						
原 地 調 査 點 數						
土 壤 採 收 點 數						
代 表 的 土 壤 採 收 點 數						
採 收 土 壤 化 學 分 析 點 數						
三 要 素 原 地 試 驗 點 數						
原 地 三 要 素 適 量 試 驗 點 數						
原 地 無 肥 料 栽 培 試 驗 點 數						
原 地 應 用 試 驗 點 數						



備考

一 「既ニ終了セルモノ」及「繼續施行中ノモノ」トアルハ當該年度ノ前年末現在ノモノヲ記載ノコト  
二 「新ニ施行セントスルモノ」トアルハ當該年度ニ於テ新ニ着手セントスルモノヲ記載ノコト

二 調査方法

備考

昭和二年十月二十七日農局第二四二二號施肥標準調査施行方法ニ關スル  
通牒ノ施行方法ニ依ル場合ハ其ノ旨ヲ記載シ之ガ内容ヲ記載スルニ及バ  
ズ、之ニ異ナル點アル場合ハ其ノ點ノミヲ明記ノコト

三 原地試驗施行計畫 (試驗地別ニ記載ノコト)

(一) 三要素試驗、三要素適量試驗及應用試驗ノ別

(二) 試驗地場所 (郡市町村大字名ヲ記載ノコト)

(三) 試驗地ノ地目 (田、畑ノ別ヲ記載ノコト) 及供試作物

(四) 試驗地面積及試驗地區數

(五) 試驗設計

(六) 創始年度

四 專任技術員ノ官職氏名及履歷ノ大要

五 其ノ他参考トナルベキ事項

第二號 事業成績書

一 實施點數

事項	施行地域	供試作物	町村數	田	畑
施肥慣行調査點數 原地調査點數 土壤採收點數 代表的土壤採收點數 採收土壤 分析點數 化學分析 理學分析					







計	何々	其ノ他收入	道府縣負擔金	旅費	其ノ他	原地試驗費

備考

- 一 備考欄ニ各其ノ費目ノ内譯ヲ明記ノコト
- 二 本年度豫算額(決算額)ガ前年度豫算額(豫算額)ニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由ヲ明記ノコト
- 三 「其ノ他收入」ハ借地ヨリ生ズル生産物ノ賣却ニ依ル收入等ノ如キモノヲ記載ノコト

支出ノ部

費目	本年度		前年度		比較増減		備考
	豫算額	(決算額)	豫算額	(決算額)	増	減	
施肥標準調査費							一人月又六年 圓 人分
俸給							一人月 圓 人分
雇員給							一人日 圓 人分
備用品料							
備用品費							
消耗品費							
借地料							段當 圓 段分
雜費							
小計							
原地試驗費							三要素試驗地一箇所 圓 箇所分 三要素適量試驗地一箇所 圓 箇所分 應用試驗地一箇所 圓 箇所分 昭和十一年度ヨリ設置ノモノト其ノ他ノモノト別シテ記載ノコト
旅費							
合計							

備考



一 備考欄ニ各其ノ費目ノ内譯ヲ明記ノコト  
 二 本年度豫算額(決算額)ガ前年度豫算額(豫算額)ニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由ヲ明記ノコト

肥料改良獎勵規則第一條第一號肥料改良獎勵專任技術員設置ニ要スル費用並同  
 第二號及第三號施肥標準調査ニ要スル費用ニ對スル獎勵金交付申請書ハ各別ニ  
 提出スルコト (昭和十一年六月十六日農局第一八一七號農務局長通牒)

(二) 肥料配給改善助成規則 (昭和五年八月一日 農林省令第四號)

第一條 農林大臣ハ肥料ノ配給改善ヲ圖ル爲本則ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ助成金ヲ交付ス

第二條 助成金ハ全國ヲ區域トスル購買組合聯合會 (以下全國購買組合聯合會ト稱ス)、道府縣ヲ區域トスル購買組合聯合會 (以下道府縣購買組合聯合會ト

稱ス)、購買組合、郡農會、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ左ニ掲グル費用ニ對シ之ヲ交付ス

一 全國購買組合聯合會ノ役員又ハ職員ニシテ專ラ肥料配給ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用

二 全國購買組合聯合會ノ肥料配合所又ハ其ノ附屬設備ノ新設、増設、改設又ハ買入ニ要スル費用

三 道府縣購買組合聯合會ノ職員ニシテ專ラ肥料配給ノ業務ヲ擔當スルモノノ設置ニ要スル費用

四 購買組合、郡農會、市農會、町村農會其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル團體ノ肥料配合ニ必要ナル器具機械ノ設置ニ要スル費用

第三條 助成金ノ額ハ前條ノ費用ノ二分ノ一以内トス但シ前條第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ額ハ一箇所分千圓ヲ超エザルモノトス



第四條 助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ

一 事業計畫書

二 第二條ノ費用ノ豫算書

第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ書類ノ外設備ノ要領書ヲ添附スベシ

前二項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第五條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者前條第一項各號又ハ同條第二項ノ書類ニ記載シタル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六條 第二條第一號又ハ第三號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ費用ノ精算書ヲ翌年度四月三十日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

第七條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者助成金ノ交付ヲ請求セントスルトキハ第二條第二號ノ設備ニ在リテハ工事

ノ全部若ハ一部ノ終了後又ハ物件買入終了後、第二條第四號ノ設備ニ在リテハ設置完成後費用ノ精算書ヲ添附シ請求書ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第八條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ

第四條第一項第一號ノ事業計畫書ニ記載シタル目的及用途ニ從ヒ設備ヲ使用スルコトヲ要ス

特別ノ事由ニ因リ前項ノ目的又ハ用途ヲ變更セントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ設備ニ重大ナル變更ヲ加ヘ又ハ設備ヲ廢棄シ若ハ讓渡セントスルトキ亦同ジ

第九條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ設備滅失シ又ハ使用スルコト能ハザルニ至リタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ農



林大臣ニ届出ヅベシ

第十條 助成金ノ交付ヲ受ケタル全國購買組合聯合會又ハ道府縣購買組合聯合會ハ毎月ノ肥料配給ニ關スル事業ノ狀況ヲ翌月十五日迄ニ農林大臣ニ報告スベシ

第十一條 助成金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業年度經過後遲滞ナク財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分書（産業組合及産業組合聯合會以外ノ團體ニ在リテハ收支決算書及事業報告書）ヲ農林大臣ニ提出スベシ

第十二條 農林大臣又ハ地方長官ハ必要アリト認ムルトキハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ何時ニテモ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ書類、帳簿又ハ事業施行若ハ財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得第十三條 第二條第二號又ハ第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケ設置シ又ハ買入レタル設備ノ承繼人ハ第八條、第九條、第十一條、前條及第十六條

ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ助成金ノ交付ヲ受ケタル者ト看做ス

第十四條 第八條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ第二條第二號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ十年間、第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ノ交付ヲ受ケタル者ニ在リテハ助成金交付ノ日ヨリ三年間トス

第十五條 全國購買組合聯合會ヨリ提出スベキ書類ヲ除クノ外本則ニ依リ農林大臣ニ提出スベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

第十六條 助成金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ助成金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金交付ノ指令ヲ取消シ又ハ既ニ交付シタル助成金ノ全部若ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ

- 一 本則ノ規定又ハ本則ノ規定ニ依ル處分ニ違反シタルトキ
- 二 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ



- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
  - 四 支出額ガ豫算額ニ比シ著シク減少シタルトキ
- 附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中二月末日迄トアルハ昭和五年度ニ限り九月三十日迄トス

(イ) 肥料ノ配給改善助成ニ關スル件

(昭和五年八月一日 農第一〇二一九號農務局長通牒)

農業生産必須ノ資源ニシテ農家經濟上極メテ重要ノ地位ニ在ル肥料ニ關シ其ノ配給改善ノ施設ヲ講ズルハ現下農村ノ實情ニ鑑ミ最緊要ナル事項ニ有之政府ハ本年度ヨリ相當豫算ヲ計上シ主トシテ産業組合ノ系統ニ依ル肥料配給改善ノ計畫ヲ樹テ今回之ガ實施ノ爲肥料配給改善助成規則ヲ制定公布相成候ニ付テハ左記事項御了知ノ上本目的達成ノ爲特ニ御配意相成度依命此段及通牒候也

追而本件ニ關スル事務ハ其ノ性質上地方廳ニ於ケル肥料獎勵及産業組合ノ事務トノ關係極メテ密接ナルモノアルヲ以テ特ニ是等事務トノ間ニ於ケル連絡協調ニ御留意相成度爲念申添候

記

- 一 肥料配給改善助成規則第二條第三號ノ費用ニ對スル助成金ハ一道府縣購買組合聯合會ニ付二人以内ノ專任職員ノ俸給及旅費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス
- 二 前項ノ職員ニシテ俸給年額千二百圓ヲ超ユルモノハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス
  - イ 産業組合又ハ産業組合聯合會ノ役職員トシテ三年以上主トシテ購買事業ノ事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者
  - ロ 一年以上奏任官待遇以上ノ職ニ在リ又ハ三年以上判任官待遇以上ノ職ニ



在リテ主トシテ産業組合ニ關スル事務又ハ肥料ノ取締若ハ獎勵ノ事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者

ハ 五年以上肥料取引ニ關スル事務ニ從事シ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者

ニ 前各號ニ準ズル者

三 第一項ノ職員ノ命免ニ付テハ道府縣購買組合聯合會ハ豫メ農務局長ニ打合ヲ爲スコトヲ要ス

四 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ハ動力機、粉碎機、粉末機、秤量器等ノ購入費、荷造運搬費及据附費、電氣内線工事費並ニ動力傳導裝置費ニ對シ之ヲ交付スルモノトス

五 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金交付申請書ニ添附スベキ事業計畫書、費用豫算書及設備要領書ハ別紙様式ニ依ルコトヲ要ス

別紙様式ハ六六頁一七〇頁ヲ參照

- 六 地方長官助成金交付申請書ヲ受理シタルトキハ事業計畫書其ノ他ノ添附書類ニ付其ノ適否ヲ調査ノ上意見ヲ附シ尙肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル申請書ニ付テハ順位ヲ定メテ之ヲ進達スルモノトス
- 七 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ設備ノ設置完成シタルトキハ地方長官ハ其ノ指定スル者ヲシテ設備及費用ニ付實地検査ヲ行ハシメ其ノ検査報告書ヲ助成金交付請求書及費用精算書ト共ニ進達スルモノトス
- 八 肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金交付請求書ニ添附スベキ費用精算書ハ別紙様式中ノ費用豫算書ノ様式ニ準ジ之ヲ作成スルコトヲ要ス

(ロ) 肥料配給改善助成金交付ニ關スル件

(昭和九年二月二十一日  
農局第四九一號農務局長通牒)

肥料配給改善助成規則第二條第四號ノ費用ニ對スル助成金ハ昭和九年度ヨリ助



成ヲ受クベキ團體ニシテ肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ製造見込數量ガ一ケ年一萬五千噸ヲ超ユルモノニ限リ肥料配合機竝ニ之ニ附屬ノ昇降機、肥料ノ粉碎機及粉末機ヲ聯結スル昇降機竝ニ横送機ニ對シテモ之ヲ交付スルコトニ決定候條右御了知ノ上適當御指導相成度又助成スベキ配合機ハ差當リ昭和五年五月大日本農會ノ懸賞ニ入賞シタルモノニ限ル見込ニ有之候條右周知方可能然御配意相成度此段及通牒候也

様式

事業計畫書

一 事業主體ノ概況

イ 地區

ロ 團體員ノ職業別數及地區内ニ於ケル農業者ノ數

ハ 肥料ニ關スル事業ノ狀況

ニ 前號以外ノ主ナル事業ノ概要  
ホ 財務狀況

二 前項イ號ノ地區内ニ於ケル肥料ノ需給及取引ノ狀況

三 肥料配合設備設置ノ理由

四 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ配給區域及配給ヲ受クベキ者ノ數

五 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ種類別見込數量

六 肥料配合設備ニ依リ配合セントスル肥料ノ原料ノ種類及配合割合ノ決定方法

七 肥料配合設備ニ依リ配合シタル肥料ノ賣渡價格ノ決定及其ノ代金ノ徵收方法

八 肥料配合事業ノ起業費ノ收支概算

九 肥料配合事業ノ收支概算

十 其ノ他必要ナル事項



備考

第四項ノ配給區域ガ第一項イ號ノ地區ノ一部ニ限ラルルトキハ其ノ理由ヲ  
 附記スルコト

費用豫算書

科目	員數	單價	金額	備考
購入費			円	
動力機				何式石油發動機何馬力
粉碎機				何式何型
粉末機				何式何型
臺秤				何貫秤
荷造運搬費				動力機何圓、粉碎機何圓、粉末機何圓、何々

据附費	電氣内線工事費	動力傳導裝置費	合計
砂利何立坪何圓、セメント何樽何圓、人夫何人何圓、何々	配電盤何圓、結線何尺何圓、工事費何圓、何々	何インチャフト何尺何圓、何インチベルト何尺何圓、何インチブーリー何箇何圓、工事費何圓、何々	

設備要領書

- 一 所在ノ場所
- 二 敷地ノ面積
- 三 建物ノ構造及面積
- 四 器具機械ノ種類、名稱、員數及能力
- 五 電氣内線工事及動力傳導裝置ノ概要



- 六 起工豫定年月日
- 七 完成豫定年月日

備考

- 一 敷地内ニ於ケル建物ノ位置及器具機械等ノ配置ヲ示シタル圖面竝ニ敷地附近ノ概況圖ヲ添附スルコト
- 二 建物及器具機械ニ付テハ既設又ハ新設ノ別ヲ明ニスルコト
- 三 第四項及第五項ノ記載ニ付テハ助成金ノ交付ヲ受ケントスルモノト然ラザルモノトノ別ヲ明ニスルコト

(八) 肥料配給改善助成規則ニ關スル様式

- イ 道府縣購買組合聯合會ノ助成金交付申請書ニ添附スベキ事業計畫書及費用豫算書ノ様式

事業計畫書

- 一 所屬組合及所屬聯合會ノ數
- 二 區域内ニ於ケル購買組合及購買組合聯合會ノ數竝ニ其ノ内道府縣購買組合聯合會ニ加入セル者ノ數
- 三 區域内ニ於ケル肥料ノ購買事業ヲ行フ購買組合及購買組合聯合會ノ數竝ニ其ノ内道府縣購買組合聯合會ニ加入セル者ノ數
- 四 區域内ニ於ケル肥料ノ需給及取引ノ狀況
- 五 道府縣購買組合聯合會ノ主ナル事業ノ概要
- 六 同上ノ肥料ニ關スル事業ノ狀況
- 七 同上ノ肥料配給ニ關スル計畫
- 八 同上ノ肥料配給ノ業務ヲ擔當スル役職員ノ氏名及其ノ事務分擔
- 九 同上ノ肥料配給事業ノ收支概算
- 十 其ノ他必要ナル事項

備考



道府縣購買組合聯合會ノ出資金又ハ所屬組合ノ増加ニ關スル計畫アルトキハ之ヲ記載スルコト

費用豫算書

科 目	金 額	備 考
俸給		一 人 年(月)俸何圓 何箇月分
旅費		一 人 年(月)俸何圓 何箇月分
主事		一 人 一日ニ付 何圓 何日分
主事		一 人 一日ニ付 何圓 何日分
計		

肥料配給改善助成規則第十條ノ規定ニ依リ道府縣購買組合聯合會ヨリ報告スベキ事業狀況ノ報告様式

肥料事業月報

- 一 種類別仕入先別肥料ノ仕入高(數量及金額)及年度内累計
- 二 種類別肥料ノ賣却高(數量及金額)及年度内累計
- 三 肥料ノ配合事業ヲ行フ場合ニ於テハ配合肥料ノ配合所別製造高及年度内累計

- 四 肥料ノ配給改善ニ關シ實行セル事項ノ概要
- 五 所屬組合及所屬聯合會ノ數並ニ道府縣購買組合聯合會ヨリ肥料ノ配給ヲ受ケタル組合及聯合會ノ數
- 六 試算表(月末現在)
- 七 其ノ他必要ナル事項



ハ 昭和五年八月一日農第一〇二一九號農務局長通牒記七ニ依ル検査報告書

様式(昭和六年二月二十五日肥料課  
長ヨリ道府縣内務部長宛通知)

肥料配合設備竝ニ費用検査報告書

一 設置者 道府縣 郡市 町村 字 番地

團體名

二 設置場所 道府縣 郡市 町村 字 番地

三 完成期日 昭和 年 月 日

四 設置シタル設備竝ニ之ガ費用ニ付實地ニ検査シタルニ設備ニ付テハ助成金  
交付申請書ニ添付ノ設備要領書ト、費用ニ付テハ費用精算書ト相違ノ廉ヲ認  
メズ(設置シタル設備ガ設備要領書記載ト相違セル場合ハ左記但書ニ準ジ記  
載ノコト)



但シ左記設備ハ設備要領書記載ノモノト相違スルモ效力價值ニ於テ之ト同  
等以上ト認ム

記

設備ノ種類 粉碎機、動力機、何々等  
相違セル點 尾上式Y型三號トアリタルモ尾上式Y型二號ヲ設備セリ  
明電舎電動機三馬力トアリタルモ芝浦電動機三馬力ヲ設備セリ  
等々

- 五 其ノ他參考トナルベキ事項
  - 六 検査施行年月日
- 右ノ通相違無之候也

昭和 年 月 日

官職 氏 名



(三) 自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關スル件

(昭和十一年六月六日 農務局長通牒)

自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ヲ圖ルハ農村ノ現状ニ鑑ミ極メテ緊要ナル事項ナルヲ以テ從來之カ獎勵ニ努メ相當ノ效果ヲ收メ候ヘ共現下農村ノ實情ニ徴シ更ニ一段ト意ヲ用フルノ必要ヲ認メ施設ヲ整備シ之ニ相當スル獎勵金ヲ增加交付スルコトト相成候條本省ノ施設ニ相對應シテ適當施設相成度尙獎勵金ハ特別ノ場合ヲ除ク外別記要項ニ依リ之ヲ取扱ヒ又本施設ノ實施ト共ニ從來施行セラレツツアル綠肥作物増殖獎勵(昭和六年六月二十日農第一〇四五〇號依命通牒)、堆肥改良増産獎勵(昭和七年七月二十九日農第一四二五八號依命通牒)及自給肥料改良増産獎勵(昭和七年九月十日農第一七四四九號農林次官通牒)施設ハ之ヲ廢止セラレ候條御了知相成度依命此段及通牒候也

自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項

第一 農林大臣ハ自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善獎勵ノ爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス

第二 獎勵金ハ左ニ掲クル道府縣ノ費用又ハ道府縣農會其ノ他農林大臣ノ適當

ト認ムル團體ニ交付スル道府縣ノ助成金ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス但シ同一事項ニ對シ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ之ニ準スルモノノ交付ヲ受クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ニ關スル實地指導地ノ設置ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金
- 二 綠肥作物改良増産ノ爲左ノ一ニ該當スル施設ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

(一) 綠肥作物種子配付ノ目的ヲ以テスル綠肥作物ノ原種圃又ハ採種圃ノ經



(二) 綠肥作物種子ノ購入配付

(三) 府縣立農事試驗場（北海道ニ在リテハ農林大臣ノ適當ト認ムル機關）ニ於ケル綠肥作物根瘤菌ノ培養配付

三 自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ニ關スル講習會、共進會、堆肥製造場等ノ設置助成其ノ他農林大臣ノ適當ト認ムル促進獎勵ニ關スル施設ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

四 自給肥料ノ改良増産及施用方法ノ改善ニ關スル指導督勵ヲ爲スニ要スル費用又ハ助成金

第三 獎勵金ノ額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトシ一道府縣總額六千五百圓ヲ限度トス

一 第二第一號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ實地指導ニ必要ナル材料費及實

地指導地管理費ニ對シ實地指導地一反步當五圓以内トシ一道府縣總額二千圓ヲ限度トス

二 第二第二號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付スルモノトシ一道府縣總額三千五百圓ヲ限度トス

(一) 第二第二號(一)ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ原種圃又ハ採種圃一反步當十五圓以内

(二) 第二第二號(二)ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ購入配付費ノ二分ヲ一以内  
(三) 第二第二號(三)ノ費用ニ對シテハ一道府縣總額五百圓以内

三 第二第三號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ一道府縣總額三千圓ヲ限度トス  
四 第二第四號ノ費用又ハ助成金ニ對シテハ一道府縣總額千圓ヲ限度トス

第四 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ事業計畫書及收支豫算書（各正副二通）ヲ添附シ前年度二月末日迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スヘシ但シ昭和



- 十一年度ニ限り申請書提出期限ハ之ヲ昭和十一年七月三十一日迄トス
- 第五 奨励金ノ交付ヲ受ケタル者第四ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ認可ヲ受タヘシ
- 第六 奨励金ノ交付ヲ受ケタル者ハ事業成績書及收支決算書（各正副二通）ヲ翌年度七月三十一日迄ニ農林大臣ニ提出スヘシ
- 第七 不正ノ手段ニ依リ助成金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル事實ヲ認知シタルトキハ其ノ處分ニ付豫メ農林大臣ニ協議スヘシ
- 第八 奨励金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ既ニ交付シタル奨励金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルヘシ
  - 一 本要項又ハ奨励金ノ交付條件ニ違反シタルトキ
  - 二 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
  - 三 支出額カ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

自給肥料改良増産及施用改善奨励金交付要項ノ事業計畫書、事業成績書、收支豫算書及收支決算書ハ左記ノ様式ニ準據シ記載スルコト（昭和十一年六月十六日農局第一八一七號農務局長通牒）

様式

第一號 事業計畫書

一 第二第一號ニ關スル事項

甲 直接事業ノ場合（實地指導地各箇所別ニ記載ノコト）

- (一) 實地指導地場所（郡市町村大字名ヲ記載ノコト）
- (二) 實地指導ヲ受クヘキ團體ノ名稱及人員
- (三) 實地指導地ノ面積（田、畑別ニ記載ノコト）
- (四) 實地指導ヲ爲スヘキ事項及實地指導ヲ必要トスル理由
- (五) 實地指導ノ方法



(六) 創始年度

乙 助成事業ノ場合

- (一) 助成計畫 (助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
- (二) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 其ノ他参考トナルヘキ事項

二 第二第二號ニ關スル事項

甲 第二第二號(一)ニ關スル事項

- (一) 直接事業ノ場合 (種類及品種別ニ記載ノコト)
- (イ) 採種圃場所 (郡市町村大字名ヲ記載ノコト)
- (ロ) 採種圃面積 (採種圃場所別ニ記載ノコト)
- (ハ) 採種量 (同上)

- (ニ) 配付種子數量及之カ栽培面積
- (ホ) 有償配付、無償配付ノ別 (有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)

(ヘ) 配付先

(ト) 配付方法

(二) 助成事業ノ場合

- (イ) 助成計畫 (助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
- (ロ) 助成金交付規程又ハ交付條件

乙 第二第二號(二)ニ關スル事項

- (一) 直接事業ノ場合 (種類及品種別ニ記載ノコト)
- (イ) 購入種子數量、購入先及購入單價



- (ロ) 配付種子數量及之カ栽培面積
- (ハ) 有償配付、無償配付ノ別 (有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)
- (ニ) 配付先
- (ホ) 配付方法
- (二) 助成事業ノ場合
  - (イ) 助成計畫 (助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
  - (ロ) 助成金交付規程又ハ交付條件
- 丙 第二第一號(三)ニ關スル事項 (種類別ニ記載ノコト)
  - (一) 配付數量 (培養容器別ニ記載ノコト)
  - (二) 接種面積

- (三) 有償配付、無償配付ノ別 (有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)
- (四) 配付先
- (五) 培養配付方法
- 丁 其ノ他參考トナルヘキ事項
- 三 第二第三號ニ關スル事項
  - 甲 直接事業ノ場合 (施設ノ種類別ニ記載ノコト)
    - (一) 施設ノ種類
    - (二) 施行方法
  - 乙 助成事業ノ場合
    - (一) 助成計畫 (助成スヘキ施設、助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
    - (二) 助成金交付規程又ハ交付條件



丙 其ノ他参考トナルヘキ事項

四 第二第四號ニ關スル事項

甲 一 直接事業ノ場合  
指導督勵ノ方法

乙 二 助成事業ノ場合

(一) 助成計畫 (助成金交付先、助成率及助成金交付先別ニ事業計畫ヲ直

接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

(二) 助成金交付規程又ハ交付條件

丙 其ノ他参考トナルヘキ事項

第二號 事業成績書

一 第二第一號ニ關スル事項

甲 一 直接事業ノ場合 (實地指導地各箇所別ニ記載ノコト)

(一) 實地指導地場所 (郡市町村大字名記載ノコト)

(二) 實地指導ヲ受ケタル團體ノ名稱及人員

(三) 實地指導地ノ面積 (田、畑別ニ記載ノコト)

(四) 實地指導ヲ行ヒタル事項

(五) 實地指導ノ方法

(六) 實地指導ニ依リ農産物ノ改良増産、地力ノ維持増進及肥料費其ノ他

生産費ノ節減等ニ及ホシタル效果 (隣接地ト比較シ成可ク具體的ニ記

載ノコト)

乙 一 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合

ハ其ノ理由



丁 其ノ他参考トナルヘキ事項

二 第二第二號ニ關スル事項

甲 第二第二號(一)ニ關スル事項

- (一) 直接事業ノ場合 (種類及品種別ニ記載ノコト)
- (イ) 採種圃場所 (郡市町村大字名ヲ記載ノコト)
- (ロ) 採種圃面積 (採種圃場所別ニ記載ノコト)
- (ハ) 採種量 (同上)
- (ニ) 配付種子數量及之カ栽培面積
- (ホ) 有償配付、無償配付ノ別 (有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)
- (ト) 配付先
- (ヘ) 配付方法

(チ) 配付種子ノ栽培成績概要 (成可ク具體的ニ記載ノコト)

(二) 助成事業ノ場合

丁 (助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

乙 第二第二號(二)ニ關スル事項

- (一) 直接事業ノ場合 (種類及品種別ニ記載ノコト)
  - (イ) 購入種子數量、購入先及購入單價
  - (ロ) 配付種子數量及之カ栽培面積
  - (ハ) 有償配付、無償配付ノ別 (有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)
  - (ト) 配付先
  - (ニ) 配付方法
  - (ホ) 配付方法
  - (ヘ) 配付種子ノ栽培成績概要 (成可ク具體的ニ記載ノコト)



- (二) 助成事業ノ場合  
(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
- 丙 第二第二號(三)ニ關スル事項 (種類別ニ記載ノコト)
  - (一) 配付數量 (培養容器別ニ記載ノコト)
  - (二) 接種面積
  - (三) 有償配付、無償配付ノ別 (有償配付ノ場合ハ配付單價ヲ記載ノコト)
  - (四) 配付先
  - (五) 培養配付方法
  - (六) 根瘤菌接種成績ノ概要 (成可ク具體的ニ記載ノコト)
- 丁 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合  
ハ其ノ理由
- 戊 其ノ他參考トナルヘキ事項

三 第二第三號ニ關スル事項

- 甲 直接事業ノ場合 (施設ノ種類別ニ記載ノコト)
  - (一) 施設ノ種類
  - (二) 事業成績 (事業實施ノ結果現ハレタル效果ヲモ記載ノコト)
- 乙 助成事業ノ場合  
(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)
- 丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合  
ハ其ノ理由
- 丁 其ノ他參考トナルヘキ事項
- 四 第二第四號ニ關スル事項
  - 甲 直接事業ノ場合  
指導督勵ノ方法及其ノ成績 (事業實施ノ結果現ハタル效果ヲモ記載ノコト)



ト)

乙 助成事業ノ場合

(助成金交付先別ニ直接事業ノ場合ニ準シ記載ノコト)

丙 實施シタル事業及分量カ豫定シタルモノニ比シ著シク相異シタル場合

ハ其ノ理由

丁 其ノ他参考トナルヘキ事項

第三號 收支豫算書 (收支決算書)

收入ノ部

費目	本年度豫算額		前年度豫算額		比較増減		備考
	(決算額)	円	(豫算額)	円	増	減	
國庫獎勵金		円		円			
實地指導獎勵金		円		円			

費目	本年度豫算額		前年度豫算額		比較増減		備考
	(決算額)	円	(豫算額)	円	増	減	
綠肥作物採種圃設置獎勵金							
綠肥作物種子購入配付獎勵金							
根瘤菌培養配付獎勵金							
促進獎勵施設獎勵金							
指導督勵獎勵金							
道府縣負擔金							
其他收入							
合計							

備考

- 一 備考欄ニ各其ノ費目ノ内譯ヲ明記ノコト
- 二 本年度豫算額(決算額)ガ前年度豫算額(豫算額)ニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由ヲ明記ノコト

支出ノ部



費目	本年度豫算額	前年度豫算額	比較増減		備考
	(決算額)	(豫算額)	増	減	
實地指導費					
材料費					
管理費					
綠肥作物採種圃設置費					
綠肥作物種子購入配付費					
根瘤菌培養配付費					
促進獎勵施設費					
講習會費					
共進會費					
何々費					
指導督勵費					

計	何々助成金	實地指導助成金	助成金	何々	通信運搬費	印刷費	旅費	備考	
								本年	前年

備考

一 備考欄ニ各其ノ費目ノ内譯ヲ明記ノコト

二 本年度豫算額(決算額)ガ前年度豫算額(豫算額)ニ比シ著シク相異シタル場合ハ其ノ理由ヲ明記ノコト

自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項第二第一號ノ自給肥料改良増産及



施用方法ノ改善ニ關スル實地指導ハ左記ノ自給肥料改良増産及施用改善實地指導要項ニ準據シ施行スルコト（昭和十一年六月十六日農局第一八一七號農務局長通牒）

自給肥料改良増産及施用改善實地指導要項

- 一 本事業ハ綠肥作物ノ栽培方法、堆肥ノ製造方法其ノ他自給肥料ノ改良増産竝施肥方法ノ改善ニ關スル實地指導ヲ行フモノタルコト
- 二 施肥方法ノ改善ノ實地指導ヲ行フニ當リテハ地方ノ實情ニ適應シ極力自給肥料ヲ施用セシムル様努ムルコト
- 三 指導地ハ地方ノ農業事情ニ即シテ最必要ナル方面ニ之ヲ設置シ其ノ箇所數ハ指導ノ稀薄散漫ニ陥ルガ如キコトナカラシムル爲徒ニ多キヲ求メサルコト
- 四 指導事項ハ地方ノ農業事情ニ即シテ特ニ必要トスルモノヲ選擇スルコト

- 五 指導ハ原則トシテ農業者ノ團體（農事小組合ノ如キモノ）ニ對シ之ヲ行フコトトナシ指導地ハ集團地（成可ク一箇所五段歩以上）タラシムルコト
- 六 同一指導地ノ繼續期間ハ三箇年位トスルコト
- 七 指導地ニ於ケル施肥設計ハ施肥標準調査其ノ他各般ノ試験研究成績ニ基キ適切ナルモノヲラシムルコト
- 八 事業ノ實施計畫ハ「肥料審議會」ニ諮問スルノミナラス其ノ實行ニ當リテモ道府縣廳、道府縣農事試驗場其ノ他ノ研究機關竝道府縣農會其ノ他ノ關係團體等ノ間ニ於ケル緊密ナル連絡ノ下ニ之ヲ行フコト
- 九 指導地ニ於ケル常時直接ノ指導ハ郡市町村農會又ハ市町村ニ於ケル農業技術員ヲシテ之ニ當ラシムルコト
- 十 實地指導地ノ成績ハ之ヲ記録ニ留ムルコト
- 十一 實地指導ノ效果ノ普及ニ關シテハ現地視察、現地講話、印刷物ノ配付其



ノ他適當ナル方法ヲ講スルコト  
十二 指導地ニ於テハ肥料ニ關スル事項ニ止マラス同時ニ其ノ農作物ノ栽培ニ關スル各般事項ノ改善ノ實ヲ舉クル様指導ニ努ムルコト

自給肥料改良増産及施用改善並施肥標準調査獎勵ニ關スル件

(昭和十一年六月十六日)  
農局第一八一七號農務局長通牒)

昭和十一年六月六日附一一農第六五七三號依命通牒自給肥料改良増産及施用改善獎勵並同一一農第六五七四號依命通牒施肥標準調査獎勵ニ關シ左記御了知相成度此段及通牒候也

記

一 自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項第四ノ事業計畫書及收支豫算

書並同第六ノ事業成績書及收支決算書ハ別記第一ノ様式ニ準據シ記載スルコト

二 施肥標準調査ノ事業計畫書、事業成績書、收支豫算書及收支決算書ハ自今別記第二ノ様式ニ準據シ記載スルコト

三 自給肥料改良増産及施用改善獎勵金交付要項第二第一號ノ自給肥料ノ改良増産及施用方法改善ニ關スル實地指導ハ別記第三自給肥料改良増産及施用改善實地指導要項ニ準據シ施行スルコト

四 (省略)

五 (省略)

六 肥料改良獎勵規則第一條第一號肥料改良獎勵專任技術員設置ニ要スル費用並同第三號及第三號施肥標準調査ニ要スル費用ニ對スル獎勵金交付申請書ハ自今各別ニ提出スルコト



七 自給肥料改良増産及施用改善獎勵金ハ本年度ヨリ之ヲ道府縣ニ交付シ道府縣農會ニ對シテハ直接交付セサルコトナリタリ然レトモ昭和六年六月二十日農第一〇四五〇號依命通牒ニ依ル綠肥作物増殖獎勵及昭和七年七月二十九日農第一四二五八號依命通牒ニ依ル堆肥改良増産獎勵ニ關スル事項ニ付テハ特別ノ場合ニ限り當分ノ内從來ノ取扱ヲ爲スコトアルヘキコト（以下省略）

別記第一様式（自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關スルモノ）

（第八一頁——第九五頁ニ記載ノ様式第一號——第三號ノ通）

別記第二様式（施肥標準調査獎勵ニ關スルモノ）

（第四八頁——第五六頁ニ記載ノ様式第一號——第三號ノ通）

別記第三 自給肥料改良増産及施用改善實地指導要項

（第九六頁——第九八頁ニ記載ノ自給肥料改良増産及施用改善實地指導要項ノ通）

#### (四) 肥料改善獎勵ニ關スル件

（昭和十一年六月六日  
農第六五七五號農務局長通牒）

肥料ノ改善ハ農家經濟作興上最モ肝要ナル事項ニシテ政府ハ從來販賣肥料ノ品質保全、配給改善、自給肥料ノ改良増産及施肥法ノ改善等肥料經濟改善ニ關シ各般ノ施設ヲ實施シ相當效果ヲ舉ゲ來リタルガ現下農村竝ニ肥料界ノ實情ニ鑑ミ重要肥料ノ需給ノ圓滑及價格ノ公正ヲ圖リ以テ農家ニ豊富且ツ低廉ナル肥料ヲ供給スル爲今回重要肥料業統制法ヲ制定相成近ク實施ノ見込ニ有之候處肥料經濟改善ノ實ヲ舉グル爲ニハ之ト相俟ツテ從來ノ諸施設ヲ整備擴充シ綜合的獎勵方針ノ下ニ各機關ノ連繫的活動ヲ促スノ要緊切ナルモノ有之是等諸施設ノ擴充ニ關シテハ別途本日附一一農第六五七三號「自給肥料改良増産及施用改善獎勵ニ關スル件」及一一農第六五七四號「施肥標準調査獎勵ニ關スル件」ヲ以テ



夫々通牒相成候處更ニ道府縣ニ肥料經濟改善ニ關スル中樞機關トシテ肥料審議會ヲ設置シ各地方ノ實情ニ適應シタル綜合的獎勵方針ヲ調査審議シ肥料經濟改善ニ關スル各般ノ施設ノ實行ハ舉ゲテ右ノ方針ニ順應セシムルコトトシ關係各機關ハ各其ノ職能ニ應ジテ眞ニ農家ヲシテ肥料經濟改善ノ實ヲ舉ゲシムル様指導督勵ニ當ラシムルコトト致度之ニ要スル經費ニ對シ新ニ獎勵金ヲ交付スルコトト相成候條本省ノ施設ニ相對應シテ適當施設相成様致度本件獎勵金ノ交付ニ付テハ別記要項ニ依ルコトト致度依命此段及通牒候也

肥料改善獎勵金交付要項

- 第一 農林大臣ハ肥料改善ニ關スル施設ヲ獎勵スル爲本要項ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金ヲ交付ス
- 第二 獎勵金ハ左ニ掲グル道府縣ノ費用ニ對シ道府縣ニ之ヲ交付ス但シ其ノ經費ニ對シ國庫ヨリ獎勵金、補助金又ハ之ニ準ズルモノノ交付ヲ受クル場

合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 肥料審議會ニ要スル費用
  - 二 肥料改善ニ關スル郡市協議會ニ要スル費用
  - 三 肥料改善ニ關スル指導督勵ニ要スル費用
  - 四 肥料改善ニ關スル調査ニ要スル費用
- 第三 獎勵金ノ額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス
- 一 第二第一號ノ費用ニ對シテハ二百圓以内
  - 二 第二第二號ノ費用ニ對シテハ五百圓以内
  - 三 第二第三號ノ費用ニ對シテハ二百五十圓以内
  - 四 第二第四號ノ費用ニ對シテハ百五十圓以内
- 特別ノ必要アリト認ムルトキハ前項ノ標準ニ依ラザルコトアルベシ但シ各號ヲ通ジテ千三百圓ヲ超エザルモノトス



第四 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル道府縣ハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ前年度

二月末迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出スベシ但シ昭和十一年度ニ限り申請書提出期限ハ之ヲ昭和十一年七月三十一日迄トス

一 事業計畫書 (別紙記載要項ニ依ルコト)

二 收支豫算書 (別紙様式ニ依ルコト)

第五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣第四ノ書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クベシ

第六 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル道府縣ハ左ノ書類ヲ翌年度七月三十一日迄ニ農林大臣ニ提出スベシ

一 事業成績書 (別紙記載要項ニ依ルコト)

二 收支決算書 (別紙様式ニ依ルコト)

第七 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大

- 一 臣ハ既ニ交付シタル獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命ズルコトアルベシ
- 二 本要項又ハ獎勵金ノ交付條件ニ違反シタルトキ
- 三 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
- 四 支出額ガ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

(別紙)

事業計畫書記載要項

一 肥料審議會 (參考第一肥料審議會要綱ニ準ズルコト)

(一) 開催ノ回数、時期及場所

(二) 附議スベキ事項

(三) 昭和十一年度ニ於テハ肥料審議會ノ組織及權限

(四) 其ノ他

二 郡市肥料改善協議會 (參考第二郡市肥料改善協議會要綱ニ準ズルコト)



開催地別ニ左ノ事項ヲ記載スルコト

(一) 開催回数及時期

(二) 協議事項

(三) 協議會ニ參加セシムベキ者ノ範圍

(四) 其ノ他

三 肥料改善指導督勵計畫ノ概要

四 肥料改善調査計畫

(一) 調査項目

(二) 調査方法

二 事業成績書記載要項

一 肥料審議會ニ關スル事項

(一) 肥料審議會規程及委員名簿 (前年度ト異動ナキ場合ハ其ノ旨附記シテ

之ガ記載ヲ省略スルコトヲ得)

(二) 審議經過概要

附議シタル具體的事項並ニ其ノ説明資料及決定事項ノ詳細等 (開催時期、場所別ニ記載スルコト)

(三) 其ノ他

二 郡市肥料改善協議會ニ關スル事項

開催地域別ニ左ノ事項ヲ記載スルコト

(一) 開催時期別ノ具體的協議事項、配布資料並ニ協議經過ノ概要及出席者ノ資格並ニ員數

(二) 其ノ他

三 肥料改善指導督勵ニ關スル事項

肥料改善指導督勵ノ爲委員ノ出張シタル具體的用務別、官職氏名別出張日



數

四 肥料改善調査ニ關スル事項  
調査概要ヲ報告スルコト

收支豫算書(收支決算書) 様式

収入ノ部

科 目	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	増	減	備 考
國庫獎勵金					
其ノ他ノ収入					
計					

注意 備考欄ニ其ノ内譯及算出ノ基礎ヲ明記スルコト

支出ノ部

科 目	本年度豫算額 (決算額)	前年度豫算額 (豫算額)	増	減	備 考
肥料審議會費					
會場費					
印刷費					
消耗品費					
通信運搬費					
其ノ他諸費					
計					
郡市肥料改善協議會費					
會場費					
印刷費					
其ノ他諸費					
計					



肥料改善指導督勵費	
肥料改善指導督勵旅費	
計	
肥料改善調査費	
通信運搬費	
印刷費	
臨時雇費	
其ノ他諸費	
計	

注意 備考欄ニ算出ノ基礎ヲ明記スルコト

(參考第一)

肥料審議會要綱

一、肥料審議會ハ道府縣ニ之ヲ置キ地方長官ノ諮問ニ應ジ肥料改善ニ關スル綜

合的獎勵計畫ノ樹立及其ノ實行方法ニ關シ調査審議スルモノトス

二、肥料審議會ハ必要アル場合ハ肥料改善ニ關スル指導督勵ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

三、本會ハ會長一名副會長一名(又ハ二名)委員若干名ヲ以テ之ヲ組織スルコト、必要アル場合ニハ臨時委員ヲ置クコトヲ得ルコト  
本會ニ幹事若干名ヲ置クコト

四、會長ハ經濟部長ヲ以テ、副會長ハ主務課長ヲ以テ之ニ充ツルコト  
委員及臨時委員ハ官廳關係職員及學識經驗アルモノノ中ヨリ地方長官之ヲ選任シ又ハ囑託スルコト(左記構成案參照ノコト)

五、肥料審議會ニ於テ調査審議スル事項次ノ如シ  
(一) 自給肥料及販賣肥料ノ消費調整ニ關スル事項



(二) 自給肥料ノ改良増産ニ關スル事項

- (イ) 堆肥(厩肥ヲ含ム)ノ改良増産計畫
  - (1) 堆肥原料ノ供給増加竝ニ利用計畫
  - (2) 堆肥生産改良設備設置計畫
  - (3) 堆肥ノ改良増産指導獎勵方法
- (ロ) 綠肥ノ改良増産計畫
  - (1) 綠肥作物栽培増加竝ニ他ノ農作物トノ栽培調整計畫
  - (2) 綠肥作物種子ノ生産増加計畫
  - (3) 綠肥作物種子配給計畫
  - (4) 綠肥作物根瘤菌ノ配布計畫
- (ハ) 其ノ他自給肥料改良増産ニ關シ必要ナル事項
- (三) 肥料配給改善施設ニ關スル事項

- (イ) 肥料購買事業促進計畫
- (ロ) 肥料購買事業開始計畫
- (ハ) 肥料購買ニ關シ系統機關利用促進計畫
- (ニ) 肥料ノ小配合所設置竝ニ配合肥料ノ配給計畫
- (ホ) 其ノ他販賣肥料ノ配給改善ニ關シ必要ナル事項
- (四) 施肥法改善ニ關スル事項
  - (イ) 施肥法改善ノ實地指導實施計畫
  - (ロ) 道府縣獎勵配合肥料ノ決定
  - (ハ) 其ノ他施肥法改善ニ關シ必要ナル事項
- (五) 郡市肥料改善協議會開催計畫
- (六) 其ノ他肥料改善獎勵ニ關シ必要ナル事項
  - (イ) 講習講話會等ノ開催計畫



(ロ) 印刷物ノ發行及配布計畫

(ハ) 其ノ他

六、肥料審議會ハ必要ニ應ジ特別委員會及小委員會ヲ開クコトヲ得ルコト

記

肥料審議會構成案(委員及幹事ハ左ノ者ノ中ヨリ選任又ハ囑託スルコト)

會長 經濟部長

副會長 農務課長(及産業組合課長)

委員

官廳關係官

農務主任技師、同主席屬、肥料獎勵官、肥料検査主任

官

官、産業組合主任官、農會係主任官、畜産、蠶絲關係

主任官

主任官、農事試驗場長、同化學部主任官、蠶業試驗場

長

長、地方專賣局係官、其ノ他

農會關係職員

道府縣農會肥料關係主任職員、郡農會主任技術者

産業組合關係職員

道府縣支會職員、道府縣購聯肥料關係職員、郡市部會

職員

其ノ他農業團體關係職員

幹事

農務課主席屬、肥料獎勵官、農會係主任官、肥料検査官、産業組合

主任官、農事試驗場化學部主任官、其ノ他

(參考第二)

郡市肥料改善協議會要綱

一、本協議會ハ郡市區域ヲ標準トスル適當ナル地域ニ於テ之ヲ開催シ肥料審議

會ニ於テ決定シタル事項ノ普及徹底ヲ圖ルト共ニ右決定事項ニ基キ更ニ各

地域毎ニ其ノ事情ニ適應シタル具體的實行方法ヲ協議スルモノトス

二、本協議會ハ道府縣之ヲ開催シ區域内ニ於ケル農會、産業組合、煙草耕作組







# 附 錄

## 厩肥ノ生産利用獎勵ノ件

(昭和七年九月十日畜第一〇三八三號)  
農林次官通牒各地方長官宛

農村ノ現状ニ鑑ミ厩肥ノ生産取扱ヲ合理的ナラシメ之カ利用ヲ増進スルハ農産物生産費ノ低減、地力ノ維持向上等ニ依リ農業經營ノ改善ニ資スルト共ニ畜産ノ振興上亦極メテ緊要ナル事項ニ有之候ニ付テハ今般厩肥ノ生産利用獎勵ニ關スル施設ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ獎勵金交付可相成候條別記要項御了知ノ上貴管下關係者ヘ周知方御取計相成度依命此段及通牒候也

### 要 項

- 一 獎勵金ハ左ニ掲クル費用ニ對シ之ヲ交付ス
- (一) 道府縣ノ厩肥舍若ハ厩肥堆積場ノ設置又ハ厩肥ノ生産利用ニ供スル爲行フ畜舍ノ改造ニ要スル費用



- (二) 道府縣ノ厩肥ノ生産利用ニ關スル傳習會ノ開催ニ要スル費用
- (三) 簡易厩肥舍若ハ簡易厩肥堆積場ノ設置又ハ厩肥ノ生産利用ニ供スル爲行  
フ畜舎ノ改造ニ要スル費用ニ對シ交付スル道府縣ノ補助金
- (四) 道府縣、道府縣畜産組合聯合會、道府縣農會又ハ農林大臣ノ適當ト認ム  
ル法人若ハ組合ノ厩肥ノ生産利用ニ關スル講習會、講話會、品評會等ノ開  
催ニ要スル費用
- 二 獎勵金ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス
  - (一) 前項(一)、(二)及(四)ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ其ノ費用ノ範圍内
  - (二) 前項(三)ノ費用ニ對スルモノニ在リテハ設置又ハ改造ニ要スル費用ノ三分  
ノ二以内
- 三 獎勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ事業計畫書及收支豫算書ヲ添附  
シ毎年二月末日(昭和七年度ニ限り十月十五日)迄ニ農林大臣ニ之ヲ提出ス

ルモノトス

- 四 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者前項ノ添附書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變  
更ヲ加ヘントスルトキハ農林大臣ノ承認ヲ受クルモノトス
- 五 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ事業終了後遲滯ナク事業成績書及收支決  
算書ヲ農林大臣ニ提出スルモノトス
- 六 本要項ニ依リ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スルモノトス
- 七 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣  
ハ獎勵金ノ全部又ハ一部ノ還付ヲ命スルコトアルモノトス
  - (一) 本要項ニ違反シタルトキ
  - (二) 獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
  - (三) 事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ
  - (四) 支出額カ豫算額ニ比シ減少シタルトキ



山田... 昭和十一年七月十一日印刷  
昭和十一年七月十三日發行

### 農林省農務局

昭和十一年七月十一日印刷  
昭和十一年七月十三日發行

東京市京橋區新富町一丁目七番地

印刷者 石井精一郎

印刷所 安信舎印刷所

電話京橋二四九四番

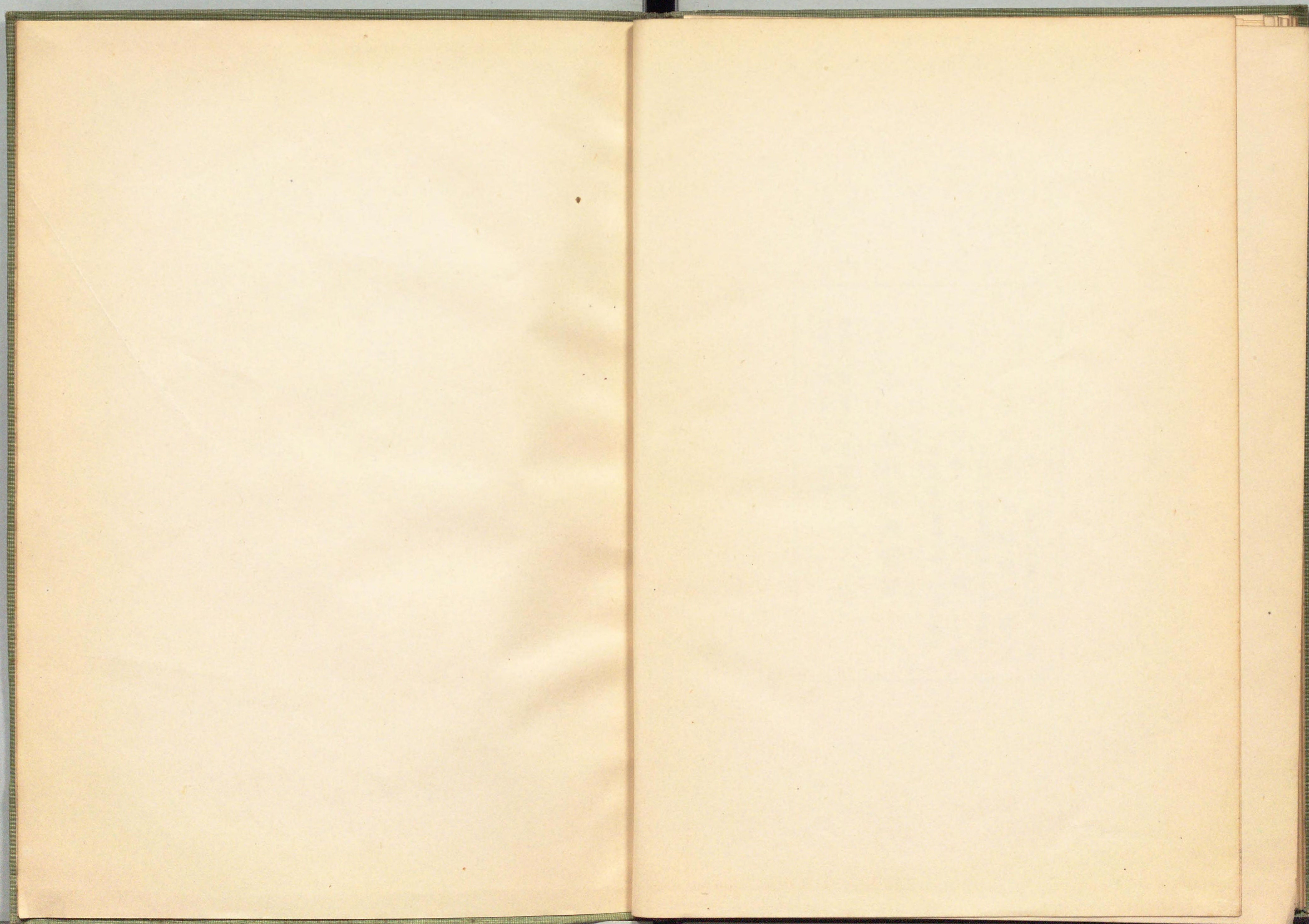


東京第一四八四番  
東京市文書館  
東京市文書館  
東京市文書館  
東京市文書館  
東京市文書館  
東京市文書館  
東京市文書館  
東京市文書館  
東京市文書館

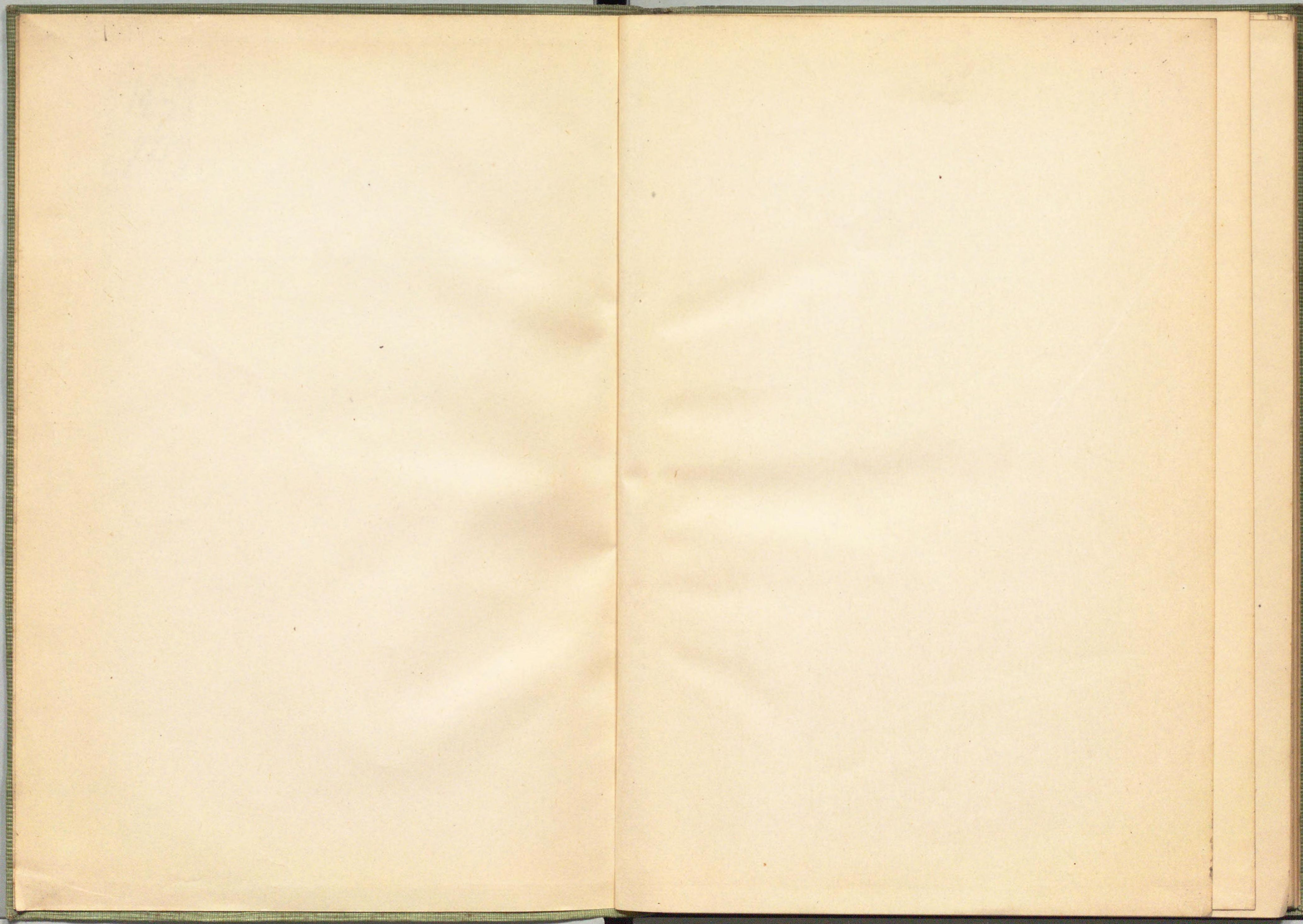
豊林青巻菴詞

昭和十一年十一月三日發行  
昭和十一年十一月十日印刷





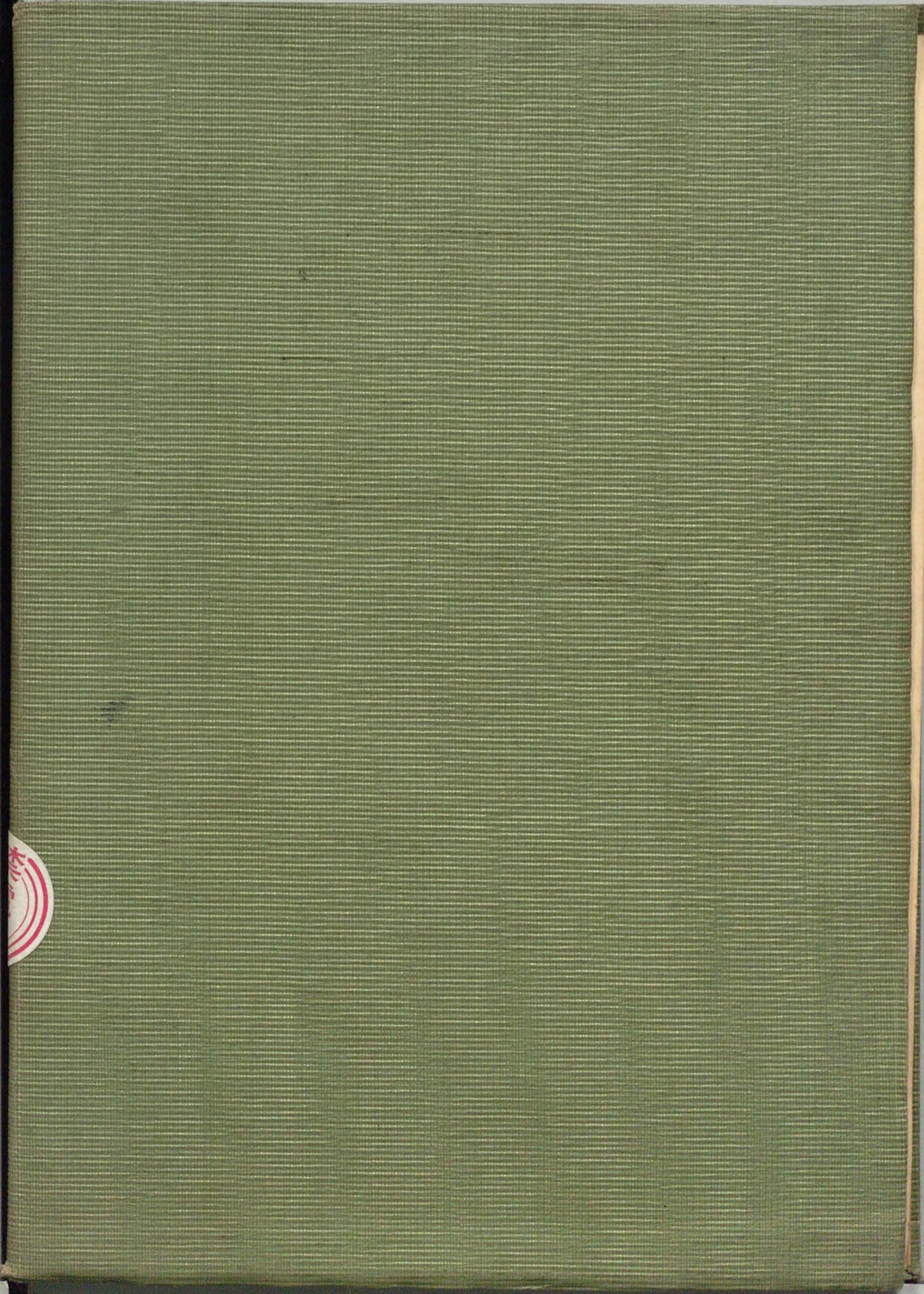






14.7  
785





木